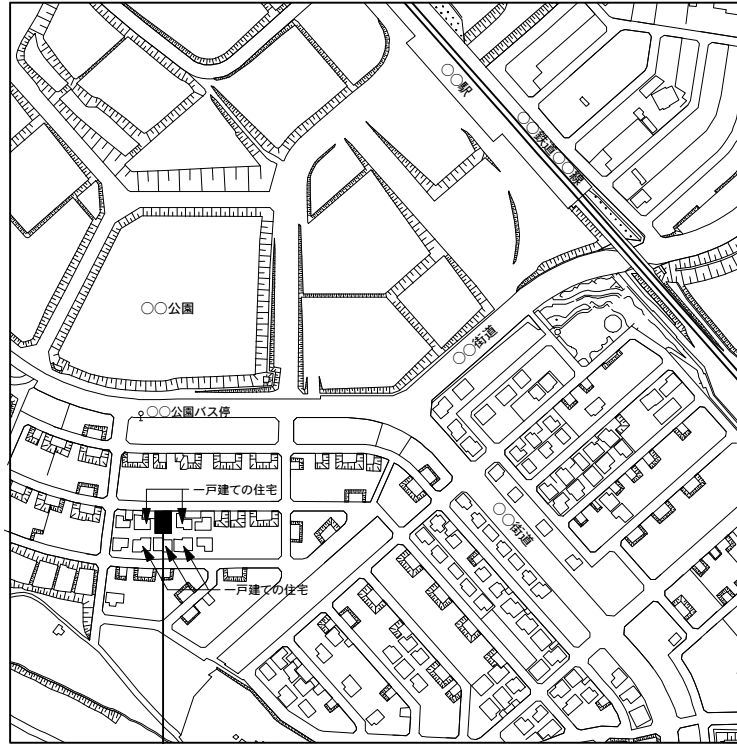


■ 付近見取図 S=1/5000



■ 計画概要

工事名称	増築部増築工事			
建築主	住所	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
	氏名	増築太郎		
敷地概要	地名地番	東京都〇〇市〇〇町△-△		
	住居表示	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇		
	敷地面積	202.62㎡		
	都市計画区域	市街化区域		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
	防火地域	準防火地域		
	指定建蔽率	50%		
	指定容積率	100%		
	高さ制限	10m		
	高度地区	第1種高度地区		
日影規制	4時間、2.5時間、1.5m			
道路	前面道路幅員6.000m、接道長さ11.000m			
建築概要	建物用途	一戸建ての住宅		
	工事の種類	増築工事		
	構造	木造		
	階数	2階建て		
	地盤面	B M+0.347 m		
	最高高さ	8.003 m		
	軒高さ	6.393 m		
	建築面積	85.10 m ² (増築による増加分: 13.90 m ²)		
	床面積	1階床面積	83.12 m ² (増築による増加分: 13.90 m ²)	
		2階床面積	52.99 m ²	
延べ面積		136.11 m ² (増築による増加分: 13.90 m ²)		

■ 室内仕上げ表

階	室名	床			巾木			壁			天井	備考		
		仕上	記号	厚	仕上	H	厚	仕上	記号	厚				
1階 増築部	和室 (特定寝室)	本畳敷き	F2		畳寄		じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2	9.5	障子
		構造用合板 特類	F6	12			ラスボード	W6	7.5		化粧石こうボード	C2	9.5	
	押入	合板1類	F5	15	雑巾指		合板1類	W4	9.5	木製回縁	合板1類	C3	9.5	
		構造用合板 特類	F6	12										
床の間		うすべり敷き	F2	3	畳寄		じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2	9.5	
		構造用合板 特類	F6	12										

■ 外部仕上げ表

部位	下地・仕上	備考
基礎	鉄筋コンクリート造布基礎	
外壁	モルタル厚25の上リシン吹付け	
軒裏	繊維混入ケイ酸カルシウム板 厚11mm	防火時間30分 (認定番号: QF030RS-〇〇〇〇)
外部開口部	アルミ製ドア、アルミ製サッシュ	防火設備(住宅防火戸) (認定番号: EB-〇〇〇〇,△△△△,□□□□,●●●●)
	網入フロート板ガラス厚6.8mm	
屋根	野地板: 構造用合板 特類 厚12mm	
	アスファルトルーフィング940 カラー亜鉛鍍板 厚0.3 瓦棒葺	

■ 設備概要

種類	設置場所	種別	検定番号等
住宅用防災機器	和室	光電式煙感知器	鑑ケ第〇〜〇号

・ホルムアルデヒドに関する使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド 発散等級区分	備考
F2	本畳敷き・うすべり敷き	規制対象外	
C2	化粧石こうボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W2	じゅらく塗	規制対象外	
引違換戸	ふすま紙	規制対象外 (F☆☆☆☆)	接着剤: 規制対象外

・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド 発散等級区分	備考
押入 (F5・W4・C3)	合板1類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
F6	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W6	ラスボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
野地板	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	

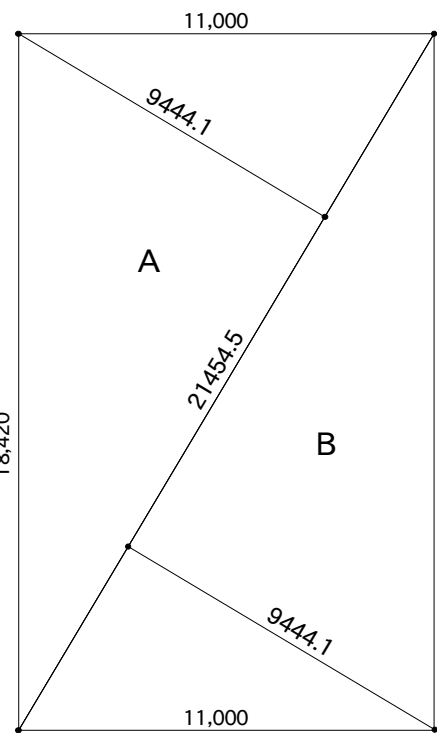
・ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造 (建物全体) ・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の措置 (増築部分)

種類	機械換気設備 (第三種換気)	天井裏等		室名		和室	
		換気回数	1階天井裏	1階床裏	外壁	間仕切壁	
換気回数	0.56回/h (下表による)						
居室出入口の通気措置	ふすま、ドアのアンダーカット1cm、引戸、換気ガラリ						
機械換気最終設置場所	便所 (1階、2階)						

・居室毎の機械換気設備 ※換気経路ではない納戸、押入は対象外

室名	床面積 m ²	平均天井高 h	気積 m ³	必要有効 換気量(A) m ³ /h	換気種別	給気機による 給気量(A) m ³ /h	排気機による 排気量(B) m ³ /h	換気回数 n
1F 玄関	2.485	2.580	6.412	283.96×0.5	第3種換気設備 (給気口及び 排気機)		80	0.56 > 0.5
1F 階段	2.070	2.175	4.503					
1F ホール、廊下 便所、台所 居間、食事室	49.516	2.400	118.838					
1F 和室、床の間	12.085	2.400	29.004					
2F 廊下、階段 便所 主寝室、洋室1,2	52.168	2.400	125.203					
合計			283.96	141.980		160	0.56 > 0.5	

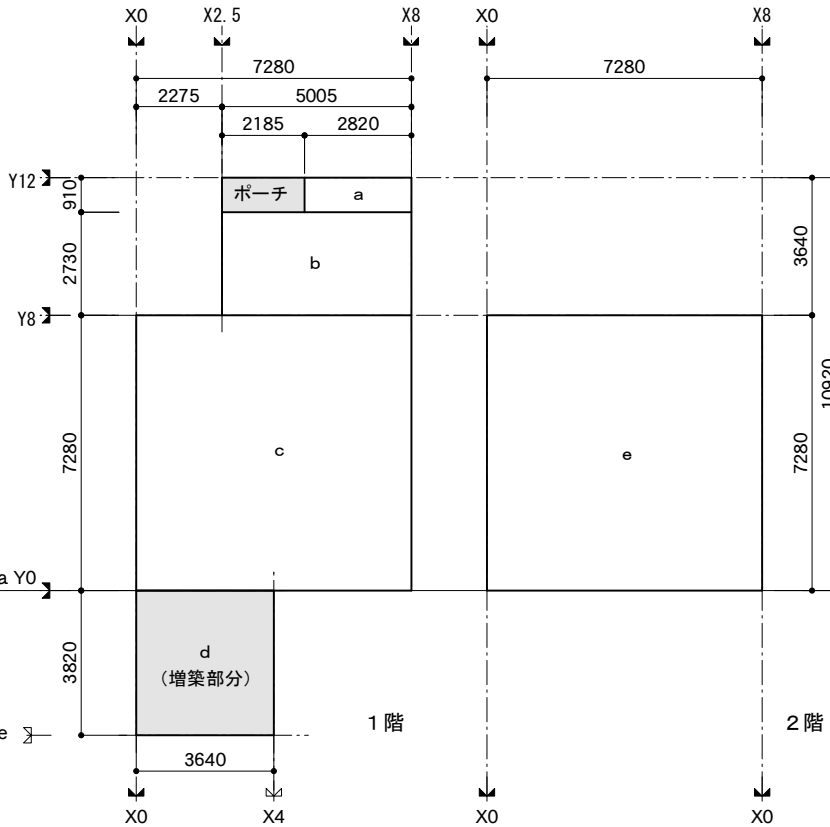
■ 敷地面積求積図 S=1/200



■ 敷地面積表

符号	底辺	高さ	倍面積
A	21.4545	9.4441	202.6184
B	21.4545	9.4441	202.6184
倍面積合計			405.2368
合計面積			202.6184
地積			202.62 m ²

■ 求積図 S=1/200



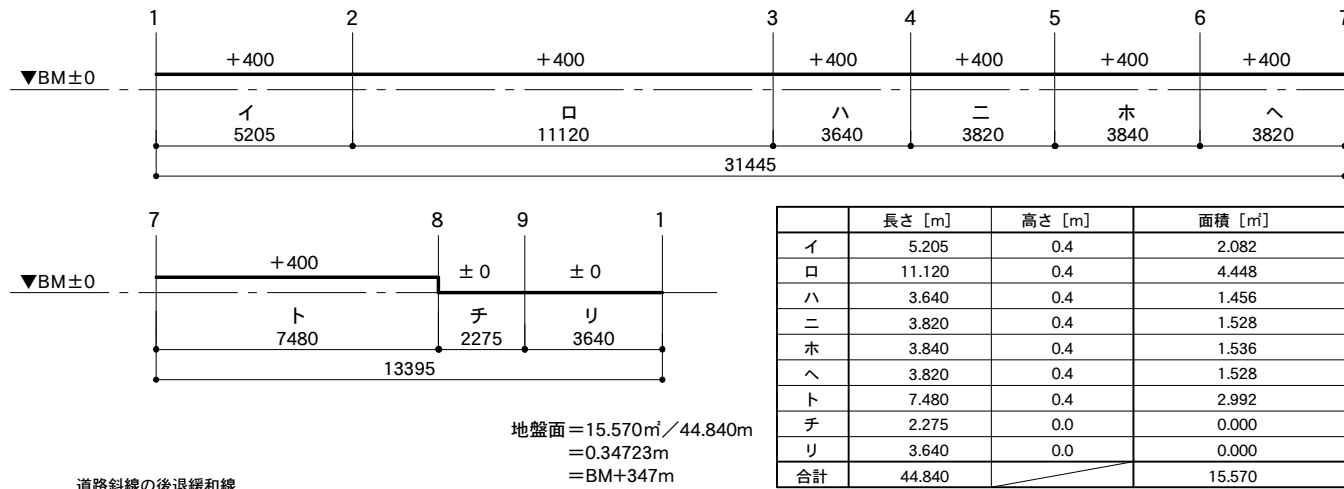
■ 面積表

階	符号	縦		横		面積	
		縦	横	面積	備考		
1階	既存	a	0.91	2.82	2.566		
		b	2.73	5.005	13.663		
	増築	c	7.28	7.28	52.998		
		d	3.82	3.64	13.904		
		既存1階床面積		69.22		=69.22㎡+13.90㎡ =83.12㎡	
2階	既存	e	7.28	7.28	52.998		
		既存2階床面積		52.99		=52.99㎡	
	延べ面積 (=容積対象面積)		=1階床面積+2階床面積		=136.11㎡		
	建築面積		=既存1階床面積+α+増築床面積		=69.22㎡+1.98㎡+13.90㎡ =85.10㎡		

■ 設計方針 ・「木造住宅等の増改築における建築確認申請の手引き」ケースⅠAを適用
 ・既存部分の基礎は無筋コンクリート造のまま既存不適格とし、法86条の7に基づく緩和規定を適用する
 ・既存部分の構造上主要な部分である継手・仕口を使用している金物は既存不適格とし、法86条の7に基づく緩和規定を適用する
 ・増築後の建物全体の必要換気量を算出し、令20条の8に規定する換気設備(24時間換気)を設置する (既存部分は建築後5年以上経過のため、使用材料は規制対象外と判断)

一級建築士事務所 ○○○△建築設計事務所
 増築部増築工事
 付近見取図、計画概要
 敷地面積、増築面積、仕上げ表、設備概要
 図示
 01

■ 地盤面算定表 S=1/200



凡例

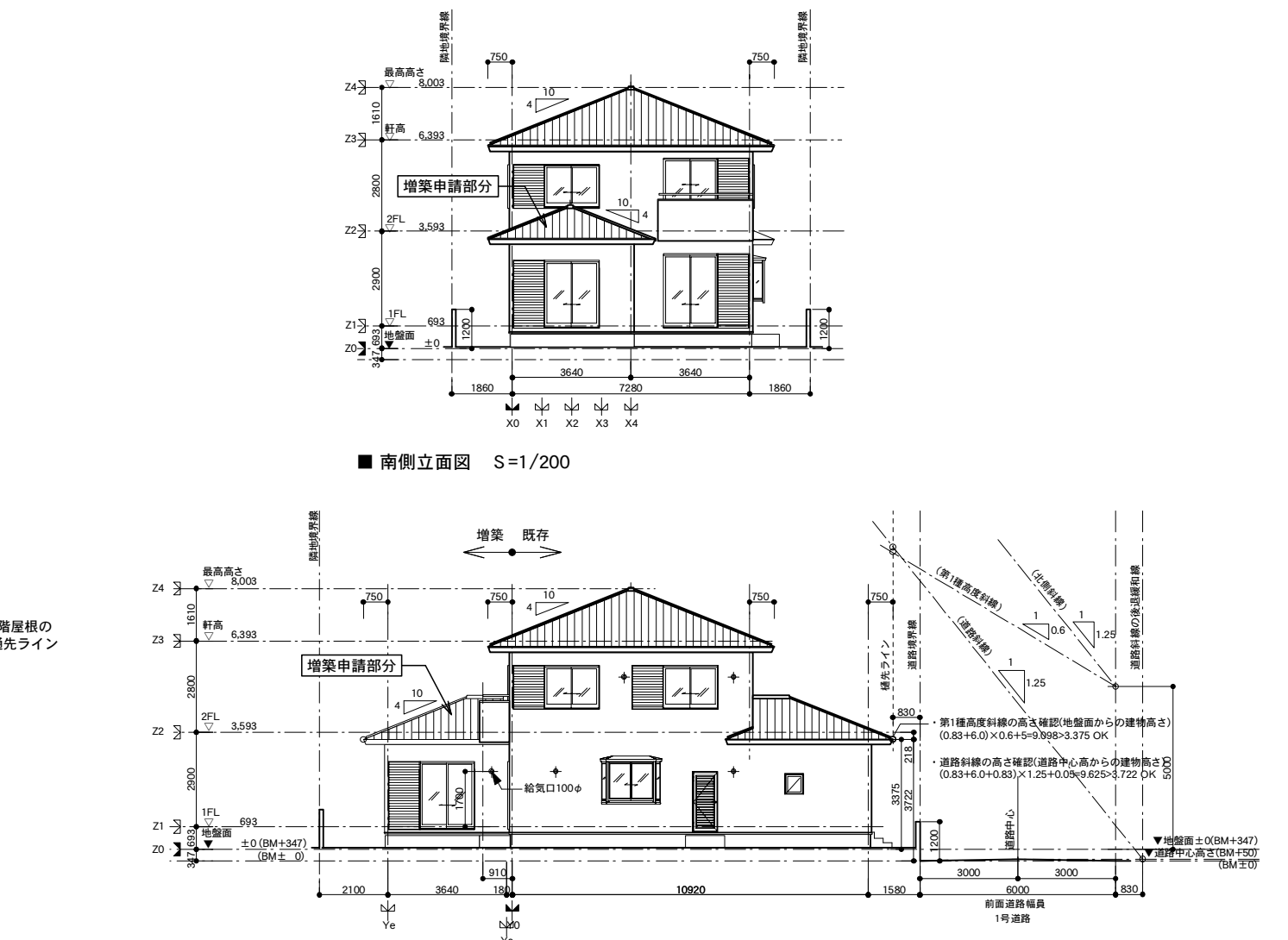
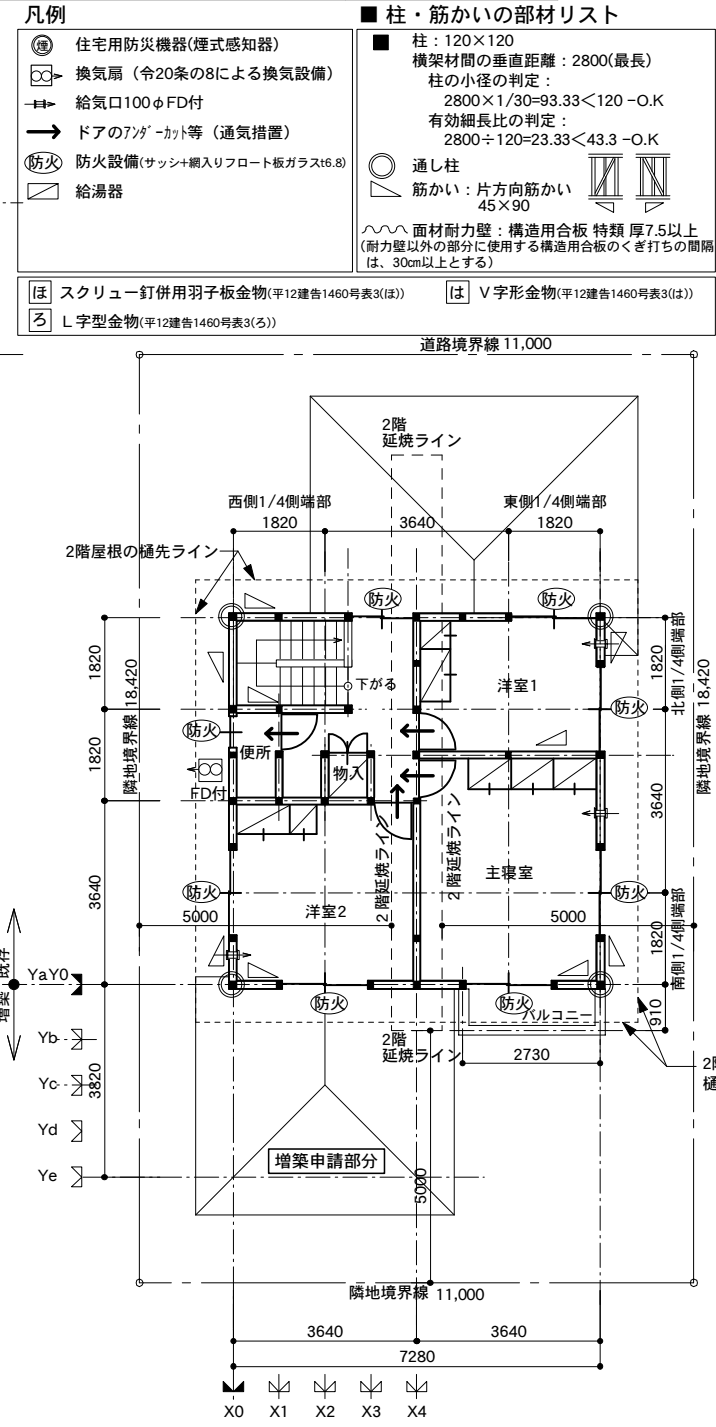
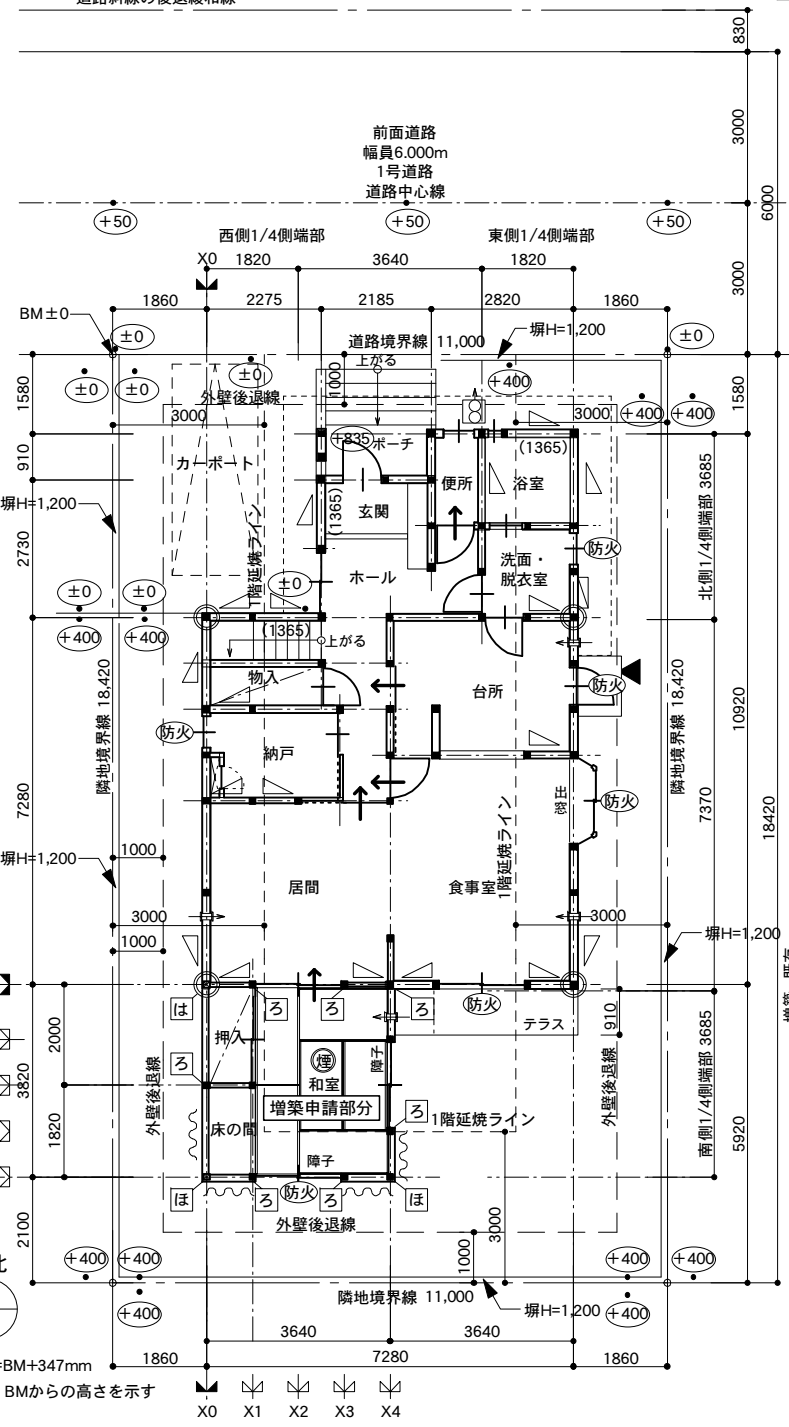
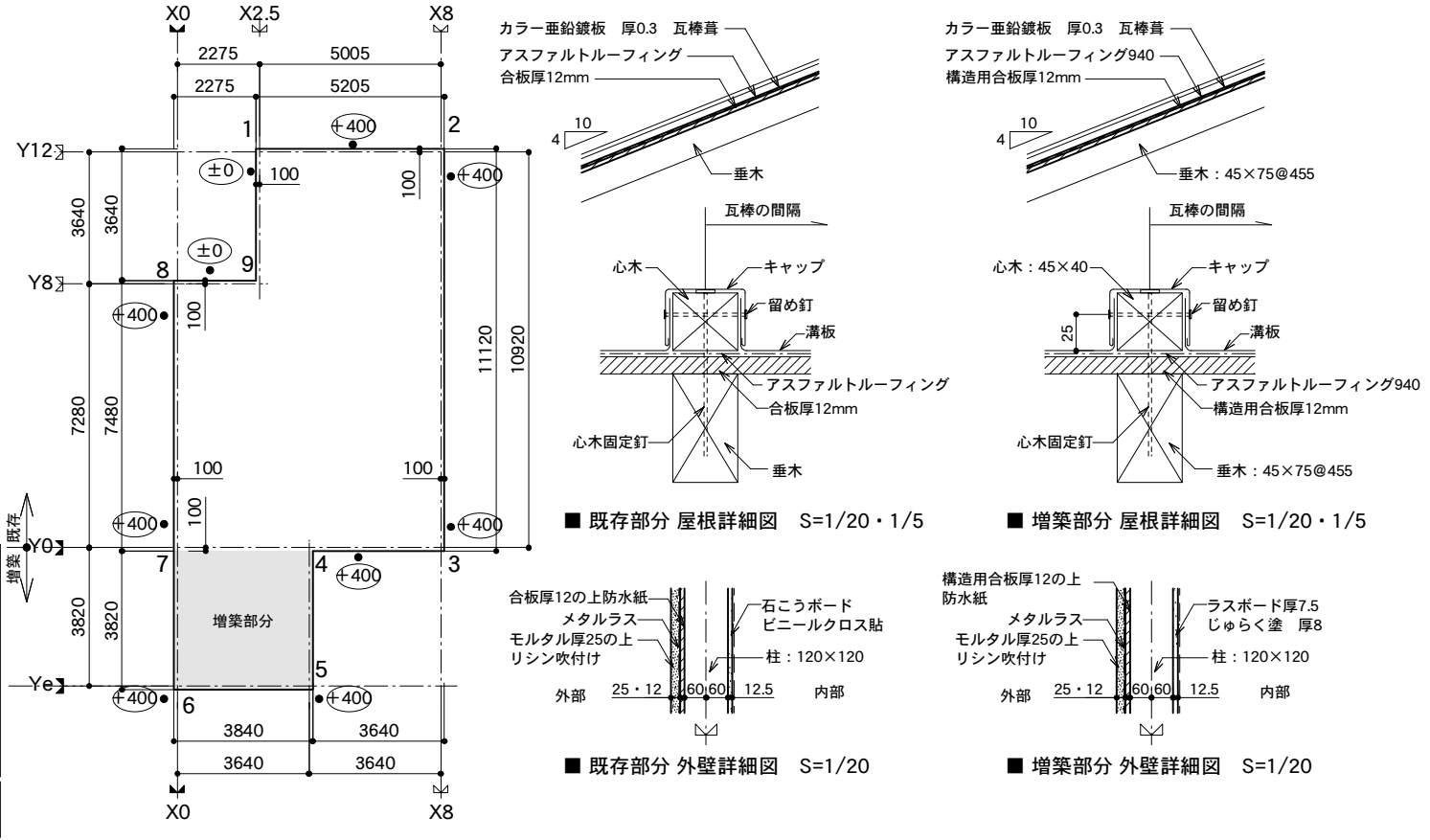
- 住宅用防災機器(煙感感知器)
- 換気扇 (令20条の8による換気設備)
- 給気口100φFD付
- ドアの7ヶ-カット等 (通気措置)
- 防火設備(サッシ+網入りフロート板ガラス16.8)
- 給湯器

■ 柱・筋かいの部材リスト

- 柱: 120×120
- 横架材間の垂直距離: 2800(最長)
- 柱の小径の判定:
2800×1/30=93.33<120-O.K
- 有効細長比の判定:
2800÷120=23.33<43.3-O.K
- 通し柱
- 筋かい: 片方向筋かい 45×90

面材耐力壁: 構造用合板 特厚 7.5以上
 (耐力壁以外の部分に使用する構造用合板のくぎ打ちの間隔は、30cm以上とする)

は スクリュー釘併用羽子板金物(平12建告1460号表3(は))
 ろ L字型金物(平12建告1460号表3(ろ))



ケースIA

■ チェックリスト

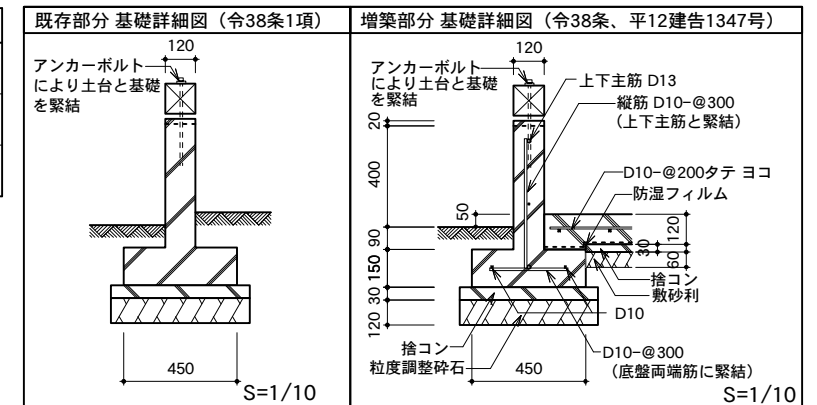
適用範囲		仕様規定	内 容	チェック	
既存部分	増築部分				
○	○	耐久性等関係規定	令37条：構造部材の耐久	構造耐力上主要な部分の防錆若しくは摩損防止の措置	<input type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料 <input type="checkbox"/> 防錆等措置
			令38条1項：基礎の種類	基礎の種類	<input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> その他()
			令38条5項：基礎ぐい	基礎ぐいの打撃力その他外力に対する構造耐力上の安全性	<input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□安全性有り □その他)
			令38条6項：木ぐい	常水面に対する木ぐいの高さ	<input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□常水面下 □その他)
			令39条1項：屋根ふき材等の緊結	屋根ふき材等が脱落しないための措置	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
			令41条：木材	構造耐力上主要な部分に使用する木材の耐力上の欠点	<input type="checkbox"/> 欠点無し
			令49条1項：外壁内部等の防錆措置等	軸組が腐りやすい構造である部分の地下への防水紙等の使用	<input type="checkbox"/> 防水紙使用 <input type="checkbox"/> その他()
			令49条2項：同上	柱、筋かい及び土台の地面から1m以内の部分の防錆・防蟻措置等	<input type="checkbox"/> 防錆等措置 <input type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料
			令38条2・3項：基礎の構造方法	異種構造の併用禁止・平12年建告第1347号の構造方法による基礎	基礎詳細図に示す
			令39条2項：屋根ふき材等の構造	昭46年建告第109号の構造方法による屋根ふき材等の緊結	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
○	○	その他の仕様規定	令42条：土台及び基礎	最下階の柱と土台又は基礎との緊結	基礎詳細図に示す
			令43条：柱の小径	軸組の小径、横架材間の垂直距離に対する割合、隅柱の措置、柱の細長比	柱の部材リスト・平面図に示す
			令44条：はり等の横架材	はり等の横架材の中央部附近の下側への耐力上支障のある欠込み	<input type="checkbox"/> 欠込み無し
			令45条1・2項：筋かいたの材料	引張り力及び圧縮力を負担する筋かいたの材料と寸法	筋かいたの部材リストに示す
			令45条3項：筋かい端部の緊結	筋かい端部の、柱と横架材との仕口に接近した部分での緊結	<input type="checkbox"/> 金物で緊結 <input type="checkbox"/> その他()
			令45条4項：筋かいたの補強	筋かいたをたすき掛けるためにやむを得ず欠込みをする場合の補強措置	<input type="checkbox"/> 欠込み無し <input type="checkbox"/> 補強有り
			令46条1・4項：構造耐力上主要な軸組	壁又は筋かいたを入れた軸組の釣り合いよい配置、必要壁量の設置	壁量と壁配置のチェック・平面図に示す
			令46条3項：火打材・振れ止め	床組及び小屋ばり組の隅角の火打材の使用、小屋組の振れ止めの措置	<input type="checkbox"/> 火打材使用 <input type="checkbox"/> 振れ止め有り <input type="checkbox"/> その他(合板)
			令47条：継手又は仕口	平12年建告第1460号の構造方法による継手又は仕口	継手仕口の金物リスト・平面図に示す

■ 継手仕口金物リスト(令47条)

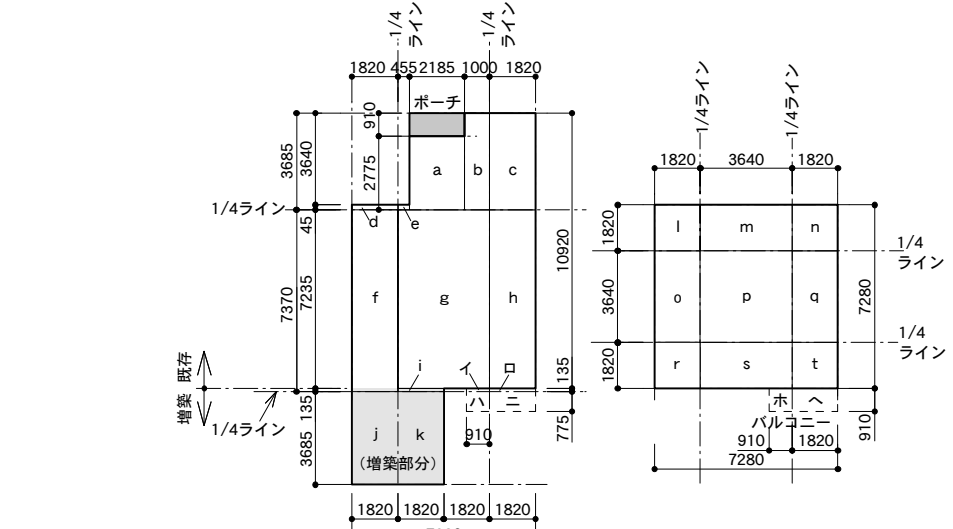
増築部分の柱	位置	金物の仕様	記号	備考
	出隅の柱	V字型金物	は	平12建告1460号第二号表3(は)の方法による接合
その他の柱	スクリー-釘併用羽子板金物	ほ	平12建告1460号第二号表3(ほ)の方法による接合	
	L字型金物	ろ	平12建告1460号第二号表3(ろ)の方法による接合	

軸組の種類と柱の配置に応じ、平12建告第1460号の表より選定

■ 基礎土台詳細図



地耐力：目視等により調査した結果、既存部分の地盤の沈下、基礎の亀裂等が生じていないことから、地耐力30kN/m以上と判断する



■ 壁量計算用面積表

	縦	横	面積
a	2.775	2.185	6.063
b	3.685	1.000	3.685
c	3.685	1.820	6.707
d	0.045	1.820	0.082
e	0.045	0.455	0.020
f	7.370	1.820	13.413
g	7.235	3.640	26.335
h	7.235	1.820	13.168
i	0.135	1.820	0.246
j	3.685	1.820	6.707
k	3.685	1.820	6.707
l	1.820	1.820	3.312
m	1.820	3.640	6.625
n	1.820	1.820	3.312
o	3.640	1.820	6.625
p	3.640	3.640	13.250
q	3.640	1.820	6.625
r	1.820	1.820	3.312
s	1.820	3.640	6.625
t	1.820	1.820	3.312
イ	0.135	0.910	0.123
ロ	0.135	1.820	0.246
ハ	0.775	0.910	0.705
ニ	0.775	1.820	1.411
ホ	0.910	0.910	0.828
ヘ	0.910	1.820	1.656

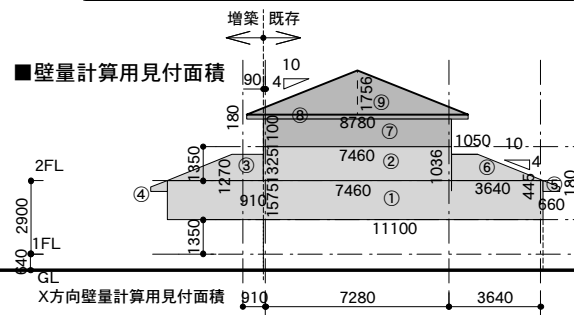
2階壁量計算用床面積	2階床面積=	52.99㎡
1階壁量計算用床面積	1階床面積=	83.12㎡

1階北側1/4側端部	a+b+c+d+e=	16.56
1階南側1/4側端部	j+k=	13.42

2階北側1/4側端部	l+m+n=	13.25
2階南側1/4側端部	r+s+t=	13.25

1階西側1/4側端部	d+f+j=	20.21
1階東側1/4側端部	c+h=	19.88

2階西側1/4側端部	l+o+r=	13.25
2階東側1/4側端部	n+q+t=	13.25



■ X方向用見付面積

階	番号	面積	合計
1階	①	1.575×11.1	17.48
	②	1.325×7.46	9.88
	③	(3.64+1.050) × 1.036/2	2.42
	④	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	⑤	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	⑥	(3.64+1.050) × 1.036/2	2.42
	⑦	1.1 × 7.46	8.20
	⑧	0.18 × 8.78	1.58
	⑨	8.78 × 1.756/2	7.70
合計			50.08
2階	⑦	1.1 × 7.46	8.20
	⑧	0.18 × 8.78	1.58
	⑨	8.78 × 1.756/2	7.70
合計			17.48

■ Y方向用見付面積

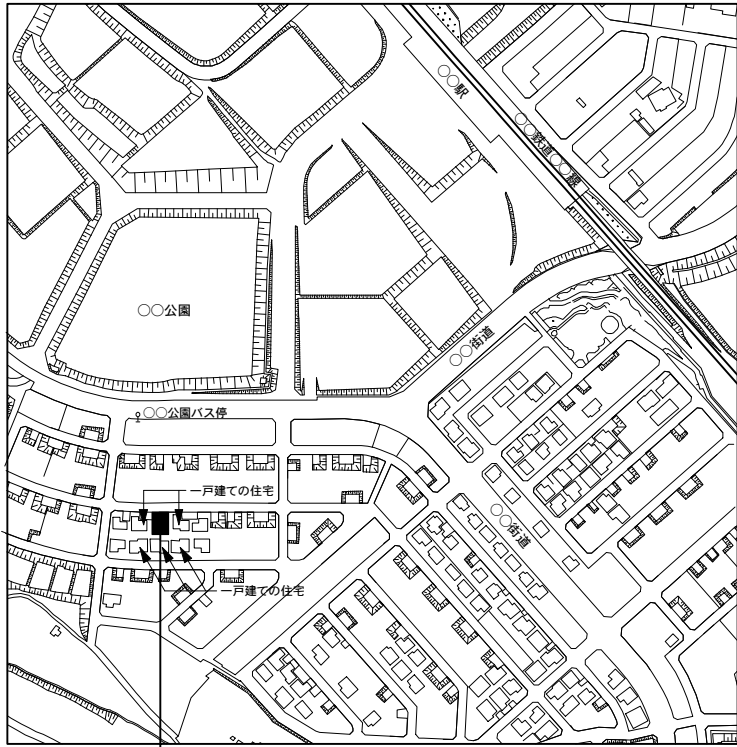
階	番号	面積	合計
1階	①	2.9 × 7.46	21.63
	②	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	③	1.1 × 7.46	8.20
	④	0.18 × 8.78	1.58
	⑤	8.78 × 1.756/2	7.70
	⑥	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
合計			39.51
2階	③	1.1 × 7.46	8.20
	④	0.18 × 8.78	1.58
	⑤	8.78 × 1.756/2	7.70
合計			17.48

■ 壁量と壁配置のチェック (令46条) 建物全体

方向・階	ソーン	耐力壁の存在壁量の計算			建築基準法の地震に関する必要壁量の計算とバランスよい壁配置のチェック				建築基準法の風に関する必要壁量の計算			建築基準法の壁量のチェック						
		③耐力壁の種類	④壁倍率	⑤壁の実長(cm)	⑥=④×⑤存在壁量(cm)	⑦床面積(m ²)	⑧床面積に要する数値(cm/m ²)	⑨=⑦×⑧建築基準法の地震に関する必要壁量(cm)	⑩=⑥/⑨存在壁量の必要壁量に対する比	⑪壁量充足率によるバランスよい壁配置の判定	⑫壁率比	⑬壁率比によるバランスよい壁配置の判定	⑭見付面積(m ²)	⑮見付面積に要する数値(cm/m ²)	⑯=⑭×⑮建築基準法の風に関する必要壁量(cm)	⑰必要壁量	⑱=⑯/⑰存在壁量	⑲判定
X軸方向2階	北側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83	適	(1.00)	(適)	17.48	50	874.00	874.00	1092.00	適
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			364.00														
	中央	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	26.49	15	198.75	1.83									
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			364.00														
南側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
計			364.00															
合計				1092.00	52.99	15	794.85	1.37	適	(壁量適)								
X軸方向1階	北側1/4	片方向筋かい	2.00	455.00	910.00	16.56	29	480.24	1.89	適	(0.83)	(適)	50.08	50	2504.00	2504.00	2821.00	適
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			910.00														
	中央	片方向筋かい	2.00	728.00	1456.00	53.14	15	201.30	2.26									
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			1456.00														
南側1/4	片方向筋かい	2.00	0.00	0.00	13.42	15	201.30	2.26										
	構造用合板	2.50	182.00	455.00														
計			455.00															
合計				2821.00	83.12	29	2410.48	1.17	適	(壁量適)								
Y軸方向2階	西側1/4	片方向筋かい	2.00	273.00	546.00	13.25	15	198.75	2.74	適	(0.66)	(適)	17.48	50	874.00	874.00	910.00	適
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			546.00														
	中央	片方向筋かい	2.00	0.00	0.00	26.49	15	198.75	1.83									
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
	計			0.00														
東側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
計			364.00															
合計				910.00	52.99	15	794.85	1.14	適	(壁量適)								
Y軸方向1階	西側1/4	片方向筋かい	2.00	364.00	728.00	20.21	29	586.09	2.01	適	(0.94)	(適)	39.51	50	1975.50	2410.48	2775.50	適
		構造用合板	2.50	182.00	455.00													
	計			1183.00														
	中央	片方向筋かい	2.00	136.50	273.00	43.03	15	227.50	1.89									
		構造用合板	2.50	91.00	227.50													
	計			500.50														
東側1/4	片方向筋かい	2.00	546.00	1092.00	19.88	29	576.52	1.89										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
計			1092.00															
合計				2775.50	83.12	29	2410.48	1.15	適	(壁量適)								

ケースIA

■ 付近見取図 S=1/5000



■ 計画概要

工事名称	増築部増築工事			
建築主	住所	東京都〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		
	氏名	増築太郎		
敷地概要	地名地番	東京都〇〇市〇〇町△-△		
	住居表示	東京都〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		
	敷地面積	202.62㎡		
	都市計画区域	市街化区域		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
	防火地域	準防火地域		
	指定建蔽率	50%		
	指定容積率	100%		
	高さ制限	10m		
	高度地区	第1種高度地区		
日影規制	4時間、2.5時間、1.5m			
道路	前面道路幅員6.000m、接道長さ11.000m			
建築概要	建物用途	一戸建ての住宅		
	工事の種類	増築工事		
	構造	木造		
	階数	2階建て		
	地盤面	BM+0.347 m		
	最高高さ	8.003 m		
	軒高さ	6.393 m		
	建築面積	85.10 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)		
	床面積	1階床面積	83.12 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)	
		2階床面積	52.99 ㎡	
延べ面積		136.11 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)		

■ 室内仕上げ表

階	室名	床			巾木			壁			回縁	天井			備考
		仕上	記号	厚	仕上	H	厚	仕上	記号	厚		仕上	記号	厚	
1階 増築部	和室 (特定寝室)	本量敷き	F2		畳寄			じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2	9.5	障子
		構造用合板 特類	F6	12				ラスボード	W6	7.5		合板1類	C3	9.5	
	押入	合板1類	F5	15	雑巾摺			合板1類	W4	9.5	木製回縁	合板1類	C3	9.5	
床の間	構造用合板 特類	F6	12	畳寄						じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2
	うすべり敷き	F2	3		構造用合板 特類	F6	12								

■ 外部仕上げ表

部位	下地・仕上	備考
基礎	鉄筋コンクリート造布基礎	
外壁	モルタル厚25の上リシン吹付け	
軒裏	繊維混入ケイ酸カルシウム板 厚11mm	防火時間30分 (認定番号: QF030RS-〇〇〇〇)
外部開口部	アルミ製ドア、アルミ製サッシュ	防火設備(住宅防火戸) (認定番号: EB-〇〇〇〇,△△△△,□□□□,●●●●)
	網入フロート板ガラス厚6.8mm	
屋根	野地板: 構造用合板 特類 厚12mm	
	アスファルトルーフィング940	
	カラー垂鉛鍍板 厚0.3 瓦葺	

■ 設備概要

・住宅用防災機器

種類	設置場所	種別	検定番号等
住宅用防災機器	和室	光電式煙感知器	鑑ケ第〇-〇号

・ホルムアルデヒドに関する使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド発散等級区分	備考
F2	本量敷き・うすべり敷き	規制対象外	
C2	化粧石こうボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W2	じゅらく塗	規制対象外	
引違襖戸	ふすま紙	規制対象外 (F☆☆☆☆)	接着剤: 規制対象外

・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド発散等級区分	備考
押入 (F5・W4・C3)	合板1類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
F6	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W6	ラスボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
野地板	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	

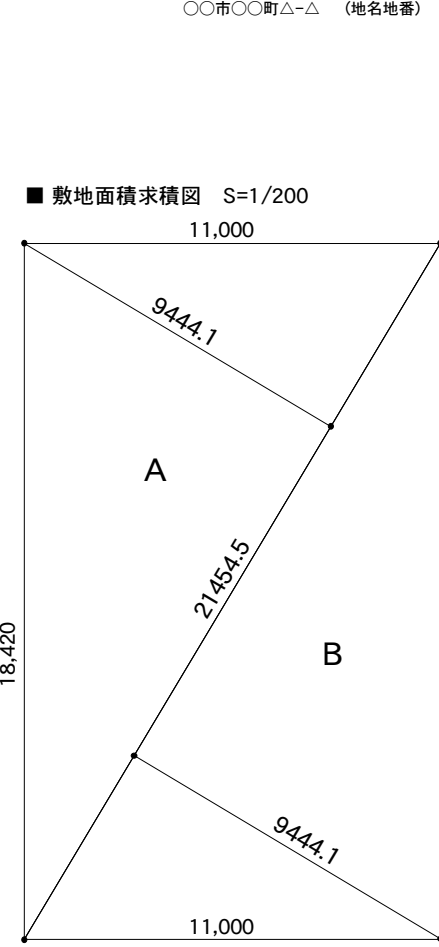
・ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造 (建物全体) ・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の措置 (増築部分)

種類	機械換気設備 (第三種換気)	天井裏等	
		室名	和室
換気回数	0.56回/h (下表による)	1階天井裏	規制対象外材料使用
居室出入口の通気措置	ふすま、ドアのアンダーカット1cm、引戸、換気ガラリ	1階床裏	規制対象外材料使用
機械換気最終設置場所	便所 (1階、2階)	外壁	規制対象外材料使用
		間仕切壁	規制対象外材料使用

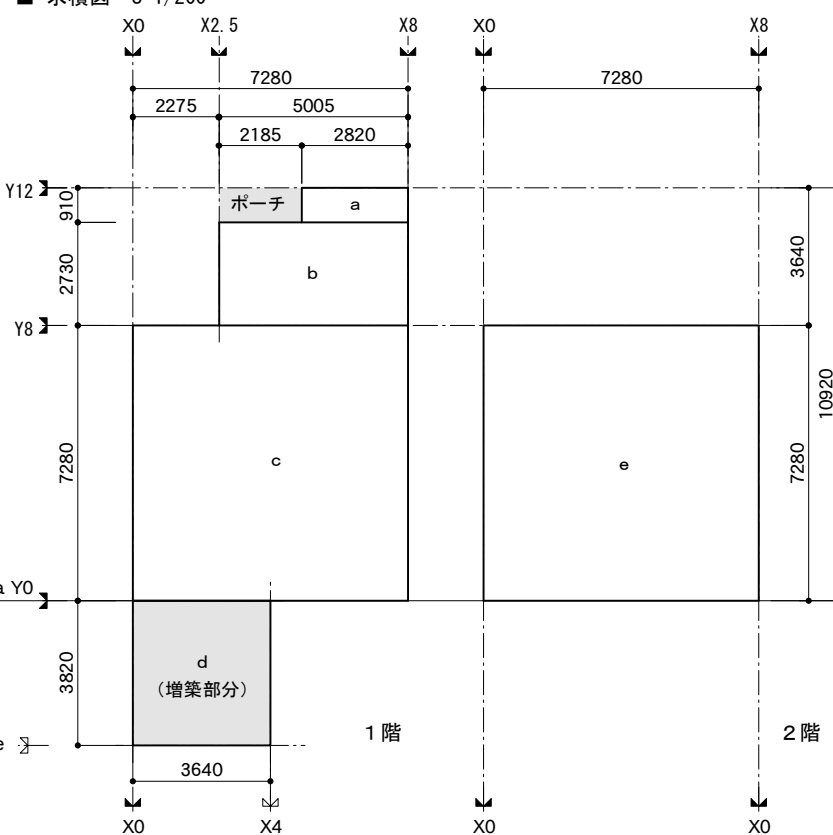
・居室毎の機械換気設備 ※換気経路ではない納戸、押入は対象外

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 m³	必要有効換気量(A) m³/h	換気種別	給気機による 給気量(A) m³/h	排気機による 排気量(B) m³/h	換気回数 n
1F 玄関	2.485	2.580	6.412	283.96×0.5	第3種換気設備 (給気口及び排気機)		80	0.56 > 0.5
1F 階段	2.070	2.175	4.503					
1F ホール、廊下 便所、台所 居間、食事室	49.516	2.400	118.838					
1F 和室、床の間	12.085	2.400	29.004					
2F 廊下、階段 便所 主寝室、洋室1,2	52.168	2.400	125.203					
合計			283.96	141.980		160		

■ 敷地面積求積図 S=1/200



■ 求積図 S=1/200



■ 面積表

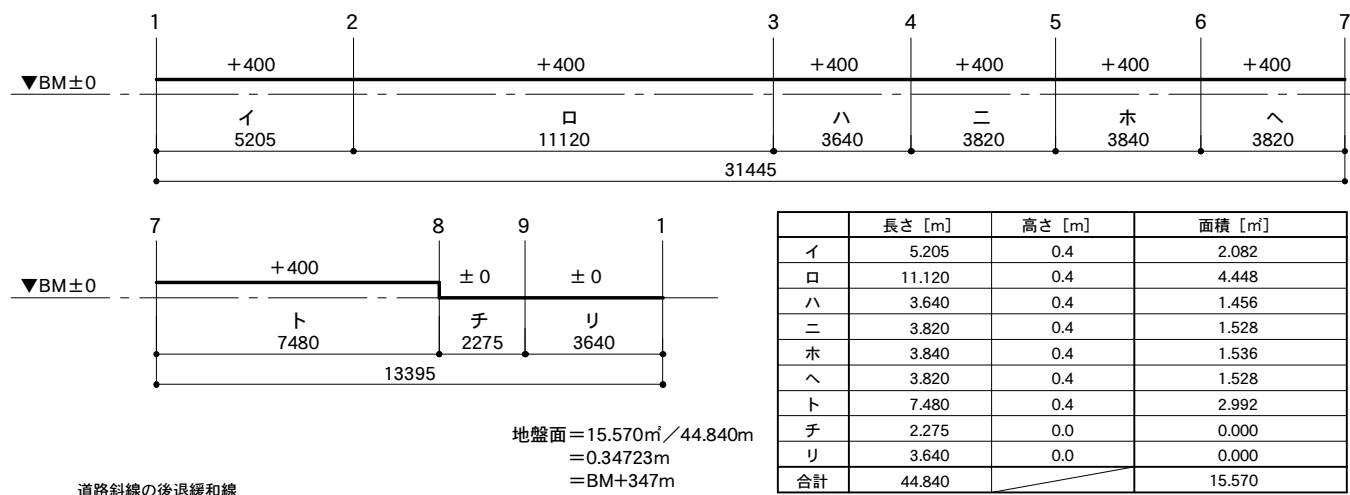
階	符号	縦		横		面積
		縦	横	縦	横	
1階	a	0.91	2.82	2.82	0.91	2.566
	b	2.73	5.005	5.005	2.73	13.663
	c	7.28	7.28	7.28	7.28	52.998
	既存1階床面積 69.22					
増築	d	3.82	3.64	3.64	3.82	13.904
	増築床面積 13.90					
	1階床面積 83.12 ㎡					
2階	e	7.28	7.28	7.28	7.28	52.998
	既存2階床面積 52.99					
	延べ面積 136.11 ㎡					

■ 敷地面積表

符号	底辺	高さ	倍面積
A	21.4545	9.4441	202.6184
B	21.4545	9.4441	202.6184
倍面積合計			405.2368
合計面積			202.6184
地積			202.62 ㎡

■ 設計方針 ・「木造住宅等の増改築における建築確認申請の手引き」ケースI Cを適用
 ・既存部分の基礎をH17国交令第566号第2による基礎の補強に関する基準により補強する
 ・増築後の建物全体の必要換気量を算出し、令20条の8に規定する換気設備(24時間換気)を設置する(既存部分は建築後5年以上経過のため、使用材料は規制対象外と判断)

■ 地盤面算定表 S=1/200



地盤面 = 15.570m² / 44.840m
= 0.34723m
= BM+347m

長さ [m]	高さ [m]	面積 [m ²]	
イ	5.205	0.4	2.082
ロ	11.120	0.4	4.448
ハ	3.640	0.4	1.456
ニ	3.820	0.4	1.528
ホ	3.840	0.4	1.536
ヘ	3.820	0.4	1.528
ト	7.480	0.4	2.992
チ	2.275	0.0	0.000
リ	3.640	0.0	0.000
合計	44.840		15.570

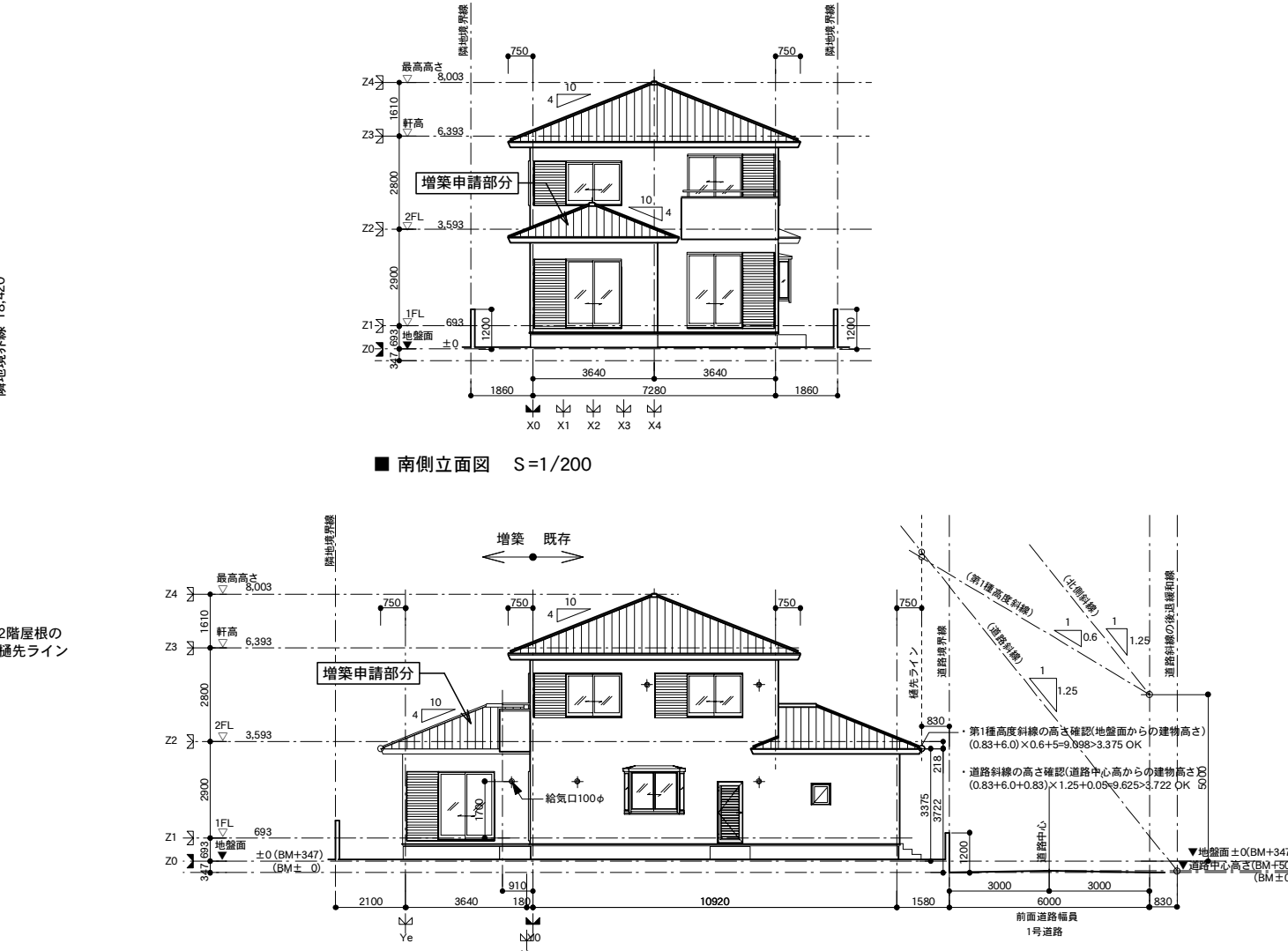
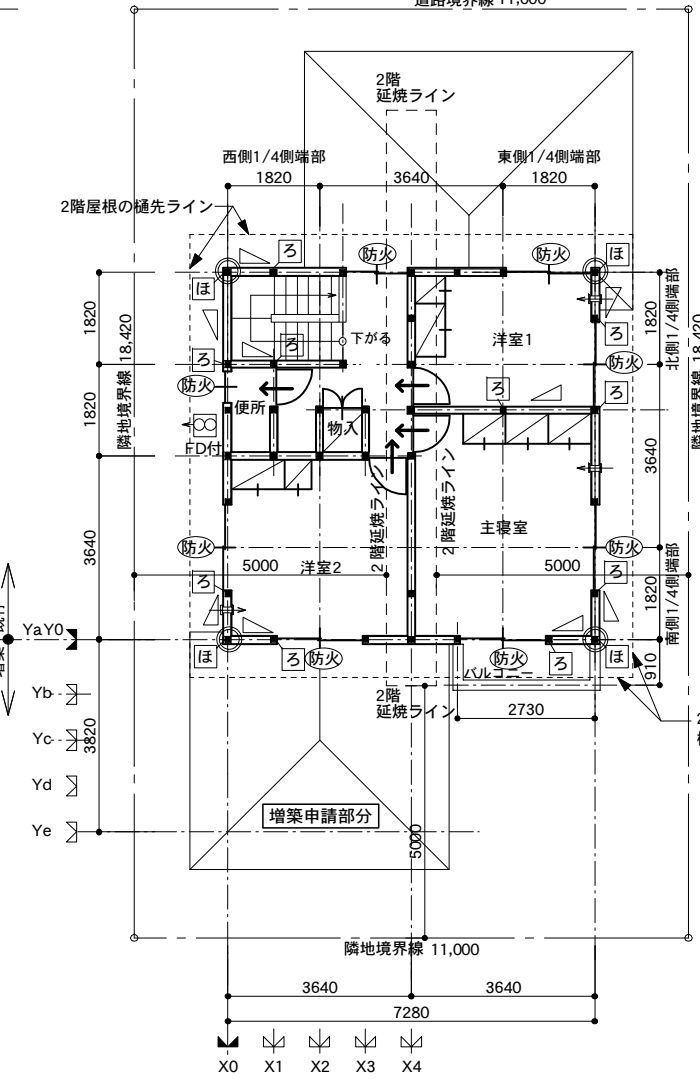
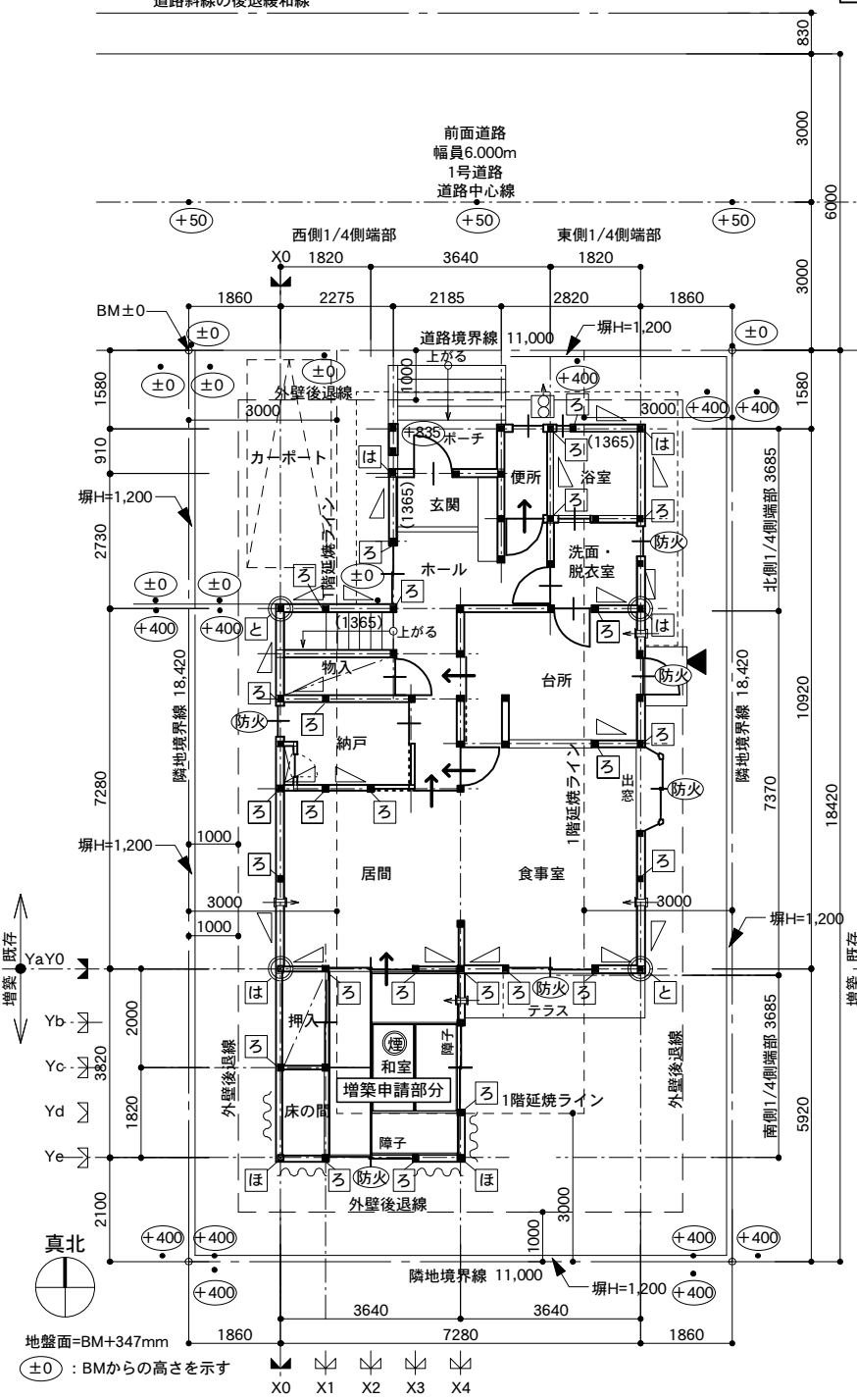
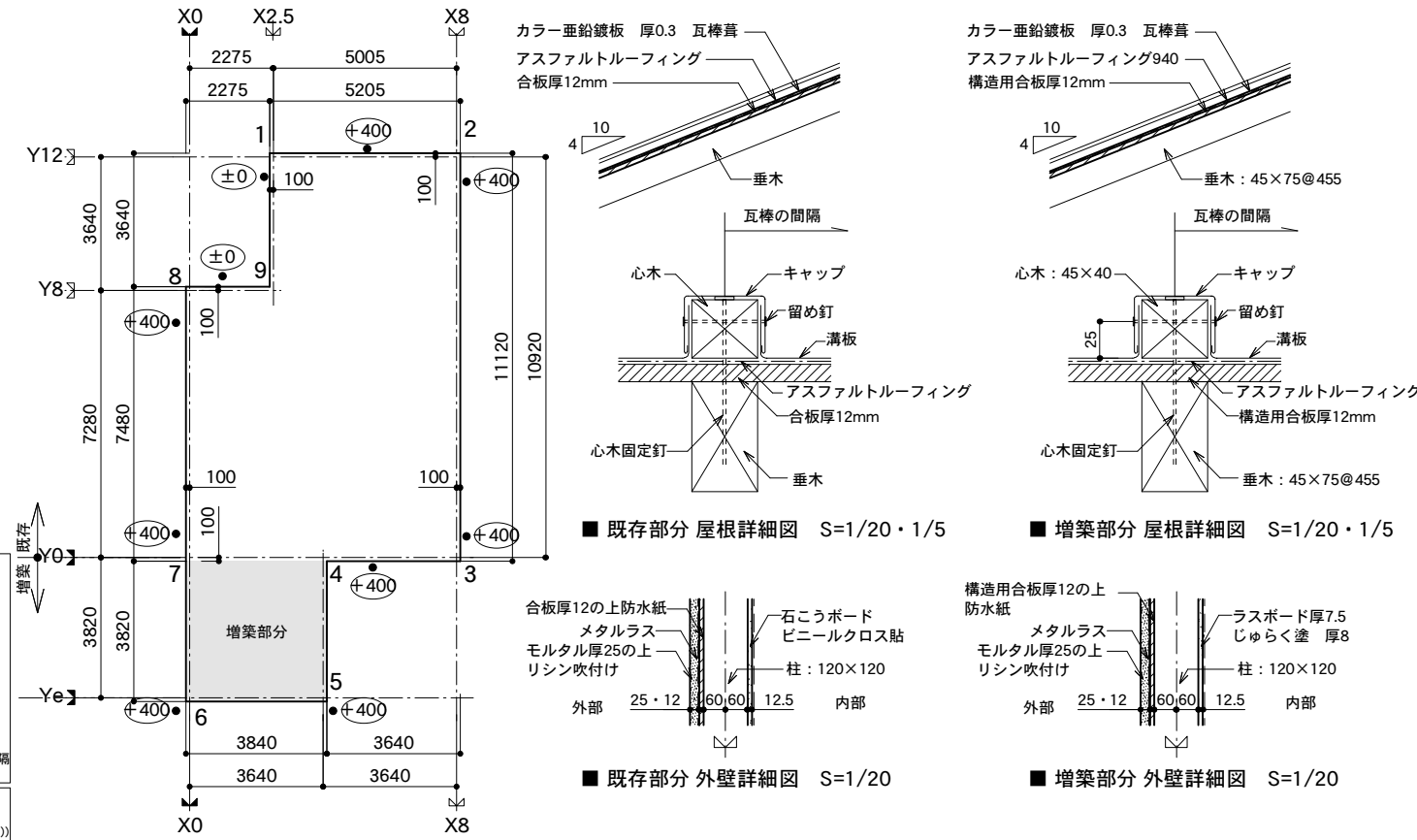
凡例

- 住宅用防災機器(煙式感知器)
- 換気扇(令20条の8による換気設備)
- 給気口100φFD付
- ドアのフグ-カット等(通気措置)
- 防火 防火設備(サッシ+編入リフロート板ガラス16.8)
- 給湯器

■ 柱・筋かいの部材リスト

- 柱: 120×120
- 横架材間の垂直距離: 2800(最長)
- 柱の小径の判定:
2800×1/30=93.33<120-O.K
- 有効細長比の判定:
2800÷120=23.33<43.3-O.K
- 通し柱
- 筋かい: 片方向筋かい 45×90
- 面材耐力壁: 構造用合板 特厚 7.5以上 (耐力壁以外の部分に使用する構造用合板のくぎ打ちの間隔は、30cm以上とする)

- は スクリュー釘併用羽子板金物(平12建告1460号表3(は))
- は V字形金物(平12建告1460号表3(は))
- ろ L字型金物(平12建告1460号表3(ろ))
- と 15kN引き寄せ金物(平12建告1460号表3(と))



■ 配置兼1階平面図 S=1/150 ■ 2階平面図 S=1/150 ■ 東側立面図 S=1/200

■ チェックリスト

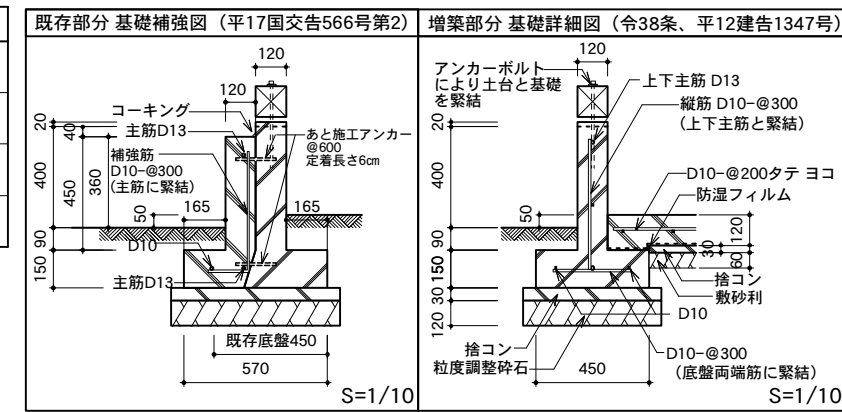
適用範囲	仕様規定	内容	チェック
既存部分	令38条1項：基礎の種別	基礎の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> その他()
増築部分	令38条2・3項：基礎の構造方法	異種構造の併用禁止・平12年建設第1347号の構造方法による基礎	基礎詳細図に示す
	令38条5項：基礎ぐい	基礎ぐいの打撃力その他外力に対する構造耐力上の安全性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□安全性有り □その他)
	令38条6項：木ぐい	常水面に対する木ぐいの高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□常水面下 □その他)
	令37条：構造部材の耐久	構造耐力上主要な部分の防錆若しくは摩損防止の措置	<input checked="" type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料 <input type="checkbox"/> 防腐等措置
	令39条1項：屋根ふき材等の緊結	屋根ふき材等が脱落しないための措置	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
	令39条2項：屋根ふき材等の構造	昭46年建設第109号の構造方法による屋根ふき材等の緊結	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
	令41条：木材	構造耐力上主要な部分に使用する木材の耐力上の欠点	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し
	令42条：土台及び基礎	最下階の柱と土台又は基礎との緊結	基礎詳細図に示す
	令43条：柱の小径	柱の小径、横架材間の垂直距離に対する割合、隅柱の措置、柱の細長比	柱の部材リスト・平面図に示す
	令44条：はり等の横架材	はり等の横架材の中央部附近の下側への耐力上支障のある欠点	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し
	令45条1・2項：筋かいの材料	引張り力及び圧縮力を負担する筋かいの材料と寸法	筋かいの部材リストに示す
	令45条3項：筋かい端部の緊結	筋かい端部の、柱と横架材との仕口に接近した部分での緊結	<input checked="" type="checkbox"/> 金物で緊結 <input type="checkbox"/> その他()
	令45条4項：筋かいの補強	筋かいをたすき掛けるためにやむを得ず欠点をする場合の補強措置	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し <input type="checkbox"/> 補強有り
	令46条1・4項：構造耐力上主要な軸組	壁又は筋かいを入れた軸組の釣り合いよい配置、必要壁量の設置	壁量と壁配置のチェック・平面図に示す
	令46条3項：火打材・振れ止め	床組及び小屋ばり組の隅角の火打材の使用、小屋組の振れ止めの措置	<input type="checkbox"/> 火打材使用 <input type="checkbox"/> 振れ止め有り <input checked="" type="checkbox"/> その他(合板)
	令47条：継手又は仕口	平12年建設第1460号の構造方法による継手又は仕口	継手仕口の金物リスト・平面図に示す
	令49条1項：外壁内部等の防腐措置等	軸組が腐りやすい構造である部分の地下への防水紙等の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 防水紙使用 <input type="checkbox"/> その他()
	令49条2項：同上	柱、筋かい及び土台の地面から1m以内の部分の防腐・防蟻措置等	<input type="checkbox"/> 防腐等措置 <input checked="" type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料

■ 継手仕口金物リスト (令47条)

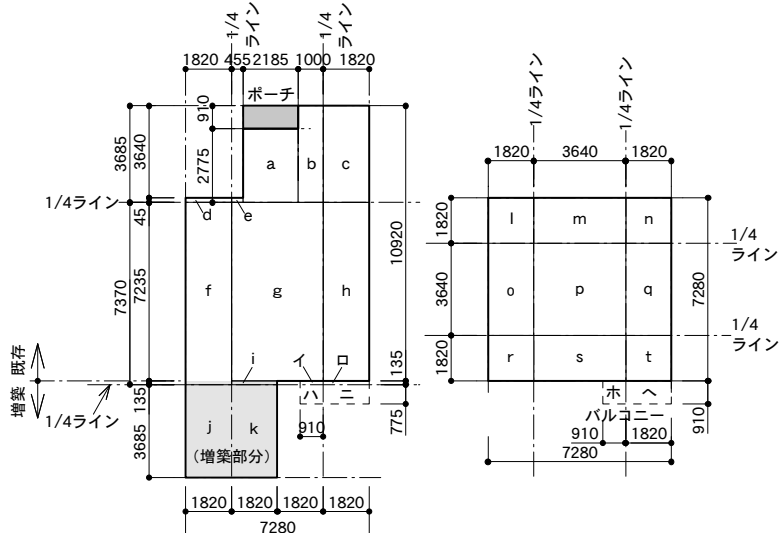
位置	金物の仕様	記号	備考	
増築部分の柱	出隅の柱	V字型金物	は	平12建設1460号第二号表3(は)の方法による接合
		スクリーナ釘併用羽子板金物	ほ	平12建設1460号第二号表3(ほ)の方法による接合
		15kN引き寄せ金物	と	平12建設1460号第二号表3(と)の方法による接合
その他の柱	L字型金物	ろ	平12建設1460号第二号表3(ろ)の方法による接合	

軸組の種類と柱の配置に応じ、平12建設第1460号の表より選定

■ 基礎土台詳細図 S=1/10



地耐力：目視等により調査した結果、既存部分の地盤の沈下、基礎の亀裂等が生じていないことから、地耐力30kN/m²以上と判断する



■ 壁量計算用面積表

	縦	横	面積
a	2.775	2.185	6.063
b	3.685	1.000	3.685
c	3.685	1.820	6.707
d	0.045	1.820	0.082
e	0.045	0.455	0.020
f	7.370	1.820	13.413
g	7.235	3.640	26.335
h	7.235	1.820	13.168
i	0.135	1.820	0.246
j	3.685	1.820	6.707
k	3.685	1.820	6.707
l	1.820	1.820	3.312
m	1.820	3.640	6.625
n	1.820	1.820	3.312
o	3.640	1.820	6.625
p	3.640	3.640	13.250
q	3.640	1.820	6.625
r	1.820	1.820	3.312
s	1.820	3.640	6.625
t	1.820	1.820	3.312
イ	0.135	0.910	0.123
ロ	0.135	1.820	0.246
ハ	0.775	0.910	0.705
ニ	0.775	1.820	1.411
ホ	0.910	0.910	0.828
ヘ	0.910	1.820	1.656

■ 1階壁量計算用面積図 S=1/300

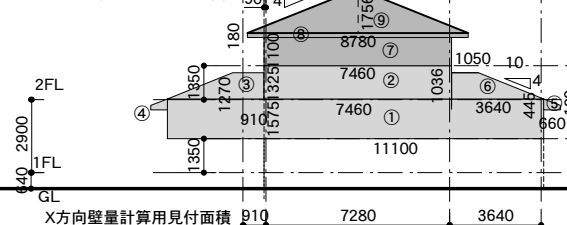
2階壁量計算用床面積	2階床面積=	52.99m ²
1階壁量計算用床面積	1階床面積=	83.12m ²

■ 2階壁量計算用面積図 S=1/300

1階北側1/4側端部	a+b+c+d+e=	16.56
1階南側1/4側端部	j+k=	13.42
1階西側1/4側端部	d+f+j=	20.21
1階東側1/4側端部	c+h=	19.88

2階北側1/4側端部	l+m+n=	13.25
2階南側1/4側端部	r+s+t=	13.25
2階西側1/4側端部	l+o+r=	13.25
2階東側1/4側端部	n+q+t=	13.25

■ 壁量計算用見付面積



■ X方向用見付面積

1階	①	1.575×11.1	17.48
	②	1.325×7.46	9.88
	③	(3.64+1.050) × 1.036/2	2.42
	④	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	⑤	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	⑥	(3.64+1.050) × 1.036/2	2.42
	⑦	1.1 × 7.46	8.20
	⑧	0.18 × 8.78	1.58
	⑨	8.78 × 1.756/2	7.70
		合計	50.08
2階	⑦	1.1 × 7.46	8.20
	⑧	0.18 × 8.78	1.58
	⑨	8.78 × 1.756/2	7.70
		合計	17.48

■ Y方向用見付面積

1階	①	2.9×7.46	21.63
	②	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
	③	1.1×7.46	8.20
	④	0.18×8.78	1.58
	⑤	8.78×1.756/2	7.70
	⑥	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
		合計	39.51
2階	③	1.1×7.46	8.20
	④	0.18×8.78	1.58
	⑤	8.78×1.756/2	7.70
		合計	17.48

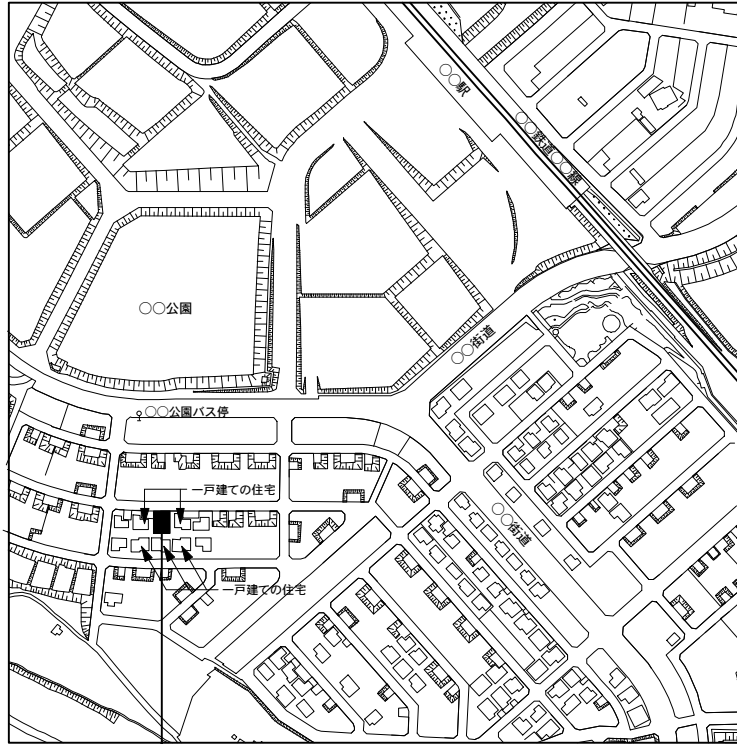
■ 壁量と壁配置のチェック (令46条) 建物全体

① 方向・階	② ソーン	耐力壁の存在壁量の計算			建築基準法の地震に関する必要壁量の計算とバランスよい壁配置のチェック				建築基準法の風に関する必要壁量の計算			建築基準法の壁量のチェック						
		③ 耐力壁の種類	④ 壁倍率	⑤ 壁の実長(cm)	⑥ =④×⑤ 存在壁量(cm)	⑦ 床面積(m ²)	⑧ 床面積に乘ずる数値(cm/m ²)	⑨ =⑦×⑧ 建築基準法の地震に関する必要壁量(cm)	⑩ =⑥/⑨ 存在壁量の必要壁量に対する比	⑪ 壁量充足率によるバランスよい壁配置の判定	⑫ 壁率比	⑬ 壁率比によるバランスよい壁配置の判定	⑭ 見付面積(m ²)	⑮ 見付面積に乘ずる数値(cm/m ²)	⑯ =⑭×⑮ 建築基準法の風に関する必要壁量(cm)	⑰ 必要壁量	⑱ =⑯/⑰ 存在壁量	⑲ 判定(⑱≥⑲なら適)
X軸方向2階	北側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83	通	(1.00)	(適)	17.48	50	874.00	874.00	1092.00	適
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			364.00													
	中央	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	26.49												
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			364.00													
南側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
	計			364.00														
合計				1092.00	52.99	15	794.85	1.37	(壁量適)									
X軸方向1階	北側1/4	片方向筋かい	2.00	455.00	910.00	16.56	29	480.24	1.89	通	(0.83)	(適)	50.08	50	2504.00	2504.00	2821.00	適
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			910.00													
	中央	片方向筋かい	2.00	728.00	1456.00	53.14												
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			1456.00													
南側1/4	片方向筋かい	2.00	0.00	0.00	13.42	15	201.30	2.26										
	構造用合板	2.50	182.00	455.00														
	計			455.00														
合計				2821.00	83.12	29	2410.48	1.17	(壁量適)									
Y軸方向2階	西側1/4	片方向筋かい	2.00	273.00	546.00	13.25	15	198.75	2.74	通	(0.66)	(適)	17.48	50	874.00	874.00	910.00	通
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			546.00													
	中央	片方向筋かい	2.00	0.00	0.00	26.49												
		構造用合板	2.50	0.00	0.00													
		計			0.00													
東側1/4	片方向筋かい	2.00	182.00	364.00	13.25	15	198.75	1.83										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
	計			364.00														
合計				910.00	52.99	15	794.85	1.14	(壁量適)									
Y軸方向1階	西側1/4	片方向筋かい	2.00	364.00	728.00	20.21	29	586.09	2.01	通	(0.94)	(適)	39.51	50	1975.50	2410.48	2775.50	適
		構造用合板	2.50	182.00	455.00													
		計			1183.00													
	中央	片方向筋かい	2.00	136.50	273.00	43.03												
		構造用合板	2.50	91.00	227.50													
		計			500.50													
東側1/4	片方向筋かい	2.00	546.00	1092.00	19.88	29	576.52	1.89										
	構造用合板	2.50	0.00	0.00														
	計			1092.00														
合計				2775.50	83.12	29	2410.48	1.15	(壁量適)									

ケースIC

一級建築士事務所 ○○△△ 建築設計事務所	工事名称 増築部増築工事	日付
一級建築士事務所 ○○知事登録 ○○○○号	図面名称 基礎土台詳細図、継手仕口金物リスト	縮尺
一級建築士 ○○○○大臣登録第 ○○○○号	壁量と壁配置のチェック、チェックリスト	図番 03
改築 安永	図示	

■ 付近見取図 S=1/5000



■ 計画概要

工事名称	増築部増築工事		
建築主	住所	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
	氏名	増築太郎	
敷地概要	地名地番	東京都〇〇市〇〇町△-△	
	住居表示	東京都〇〇市〇〇町〇-〇-〇	
	敷地面積	202.62㎡	
	都市計画区域	市街化区域	
	用途地域	第1種低層住居専用地域	
	防火地域	準防火地域	
	指定建蔽率	50%	
	指定容積率	100%	
	高さ制限	10m	
	高度地区	第1種高度地区	
日影規制	4時間、2.5時間、1.5m		
道路	前面道路幅員6.000m、接道長さ11.000m		
建築概要	建物用途	一戸建ての住宅	
	工事の種類	増築工事	
	構造	木造	
	階数	2階建て	
	地盤面	B M+0.347 m	
	最高高さ	8.003 m	
	軒高さ	6.393 m	
	建築面積	85.10 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)	
	床面積	1階床面積	83.12 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)
		2階床面積	52.99 ㎡
延べ面積		136.11 ㎡ (増築による増加分: 13.90 ㎡)	

■ 室内仕上げ表

階	室名	床			巾木			壁			回縁	天井			備考
		仕上	記号	厚	仕上	H	厚	仕上	記号	厚		仕上	記号	厚	
1階 増築部	和室 (特定寝室)	本量敷き	F2		畳			じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2	9.5	障子
		構造用合板 特類	F6	12				ラスボード	W6	7.5					
	押入	合板 1類	F5	15	雑巾摺			合板 1類	W4	9.5	木製回縁	合板 1類	C3	9.5	
		構造用合板 特類	F6	12											
床の間		うすべり敷き	F2	3	畳			じゅらく塗	W2	8	木製回縁	化粧石こうボード	C2	9.5	
		構造用合板 特類	F6	12											

■ 外部仕上げ表

部位	下地・仕上	備考
基礎	鉄筋コンクリート造布基礎	
外壁	モルタル厚25の上リシン吹付け	
軒裏	繊維混合ケイ酸カルシウム板 厚11mm	防火時間30分 (認定番号: QF030RS-〇〇〇〇)
外部開口部	アルミ製ドア、アルミ製サッシュ	防火設備(住宅防火戸) (認定番号: EB-〇〇〇〇,△△△△,□□□□,●●●●)
	網入フロート板ガラス厚6.8mm	
屋根	野地板: 構造用合板 特類 厚12mm	
	アスファルトルーフィング940 カラー亜鉛鍍板 厚0.3 瓦棒葺	

■ 設備概要

・住宅用防災機器

種類	設置場所	種別	検定番号等
住宅用防災機器	和室	光電式煙感知器	鑑ケ第〇〜〇号

・ホルムアルデヒドに関する使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド 発散等級区分	備考
F2	本量敷き・うすべり敷き	規制対象外	
C2	化粧石こうボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W2	じゅらく塗	規制対象外	
引違換戸	ふすま紙	規制対象外 (F☆☆☆☆)	接着剤: 規制対象外

・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の使用建築材料表 (増築部分)

記号	建築材料	ホルムアルデヒド 発散等級区分	備考
押入 (F5・W4・C3)	合板 1類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
F6	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
W6	ラスボード	規制対象外 (F☆☆☆☆)	
野地板	構造用合板 特類	規制対象外 (F☆☆☆☆)	

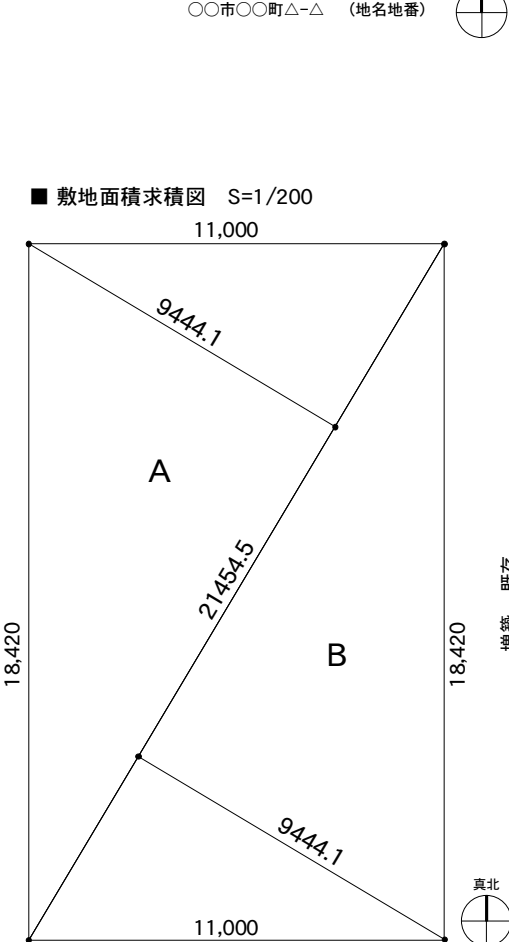
・ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないようにするための構造 (建物全体) ・ホルムアルデヒドに関する天井裏等の措置 (増築部分)

種類	機械換気設備 (第三種換気)	天井裏等		室名	和室
		換気回数	換気種別		
換気回数	0.56回/h (下表による)	1階天井裏	第3種換気設備 (給気口及び排気機)	1階天井裏	規制対象外材料使用
居室出入口の通気措置	ふすま、ドアのアンダーカット1cm、引戸、換気ガラリ	1階床裏	第3種換気設備 (給気口及び排気機)	1階床裏	規制対象外材料使用
機械換気最終設置場所	便所 (1階、2階)	外壁		外壁	規制対象外材料使用
		間仕切壁		間仕切壁	規制対象外材料使用

・居室毎の機械換気設備 ※換気経路ではない納戸、押入は対象外

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 m³	必要有効換気量(A) m³/h	換気種別	給気機による 給気量(A) m³/h	排気機による 排気量(B) m³/h	換気回数 n
1F 玄関	2.485	2.580	6.412	283.96×0.5	第3種換気設備 (給気口及び排気機)		80	0.56 > 0.5
1F 階段	2.070	2.175	4.503					
1F ホール、廊下 便所、台所 居間、食事室	49.516	2.400	118.838					
1F 和室、床の間	12.085	2.400	29.004					
2F 廊下、階段 便所 主寝室、洋室1,2	52.168	2.400	125.203					
合計			283.96	141.980		160	0.56 > 0.5	

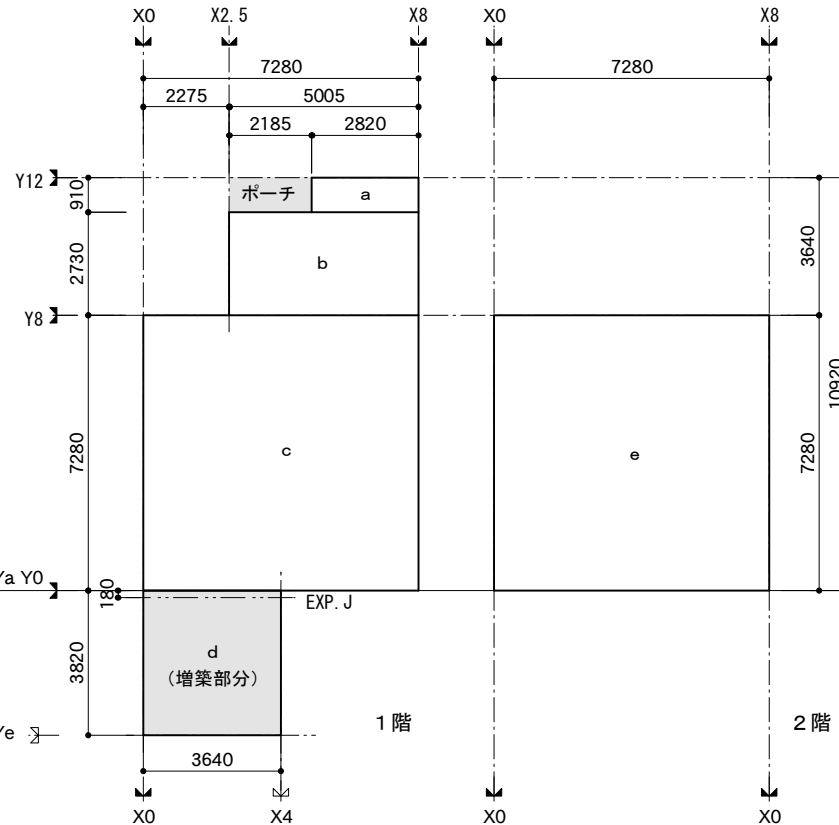
■ 敷地面積求積図 S=1/200



■ 敷地面積表

符号	底辺	高さ	倍面積
A	21.4545	9.4441	202.6184
B	21.4545	9.4441	202.6184
倍面積合計			405.2368
合計面積			202.6184
地積			202.62 ㎡

■ 求積図 S=1/200



■ 面積表

階	符号	縦		横		面積
		縦	横	縦	横	
1階	既存	a	0.91	2.82	2.566	
		b	2.73	5.005	13.663	
	増築	c	7.28	7.28	52.998	
		d	3.82	3.64	13.904	
		既存1階床面積		69.22		
		増築床面積		13.90		
		1階床面積		83.12 ㎡		
2階	既存	e	7.28	7.28	52.998	
		既存2階床面積		52.99		
	延べ面積		延べ面積		136.11 ㎡	

階	符号	縦		横		面積
		縦	横	縦	横	
1階	ポーチ	0.91	2.185	1.9883		
		ポーチ面積: α		1.98 ㎡		
面 積	1階床面積 = 既存1階床面積 + 増築床面積		= 69.22㎡ + 13.90㎡		= 83.12㎡	
	2階床面積 = 既存2階床面積		= 52.99㎡		= 52.99㎡	
	延べ面積 (=容積対象面積)		= 1階床面積 + 2階床面積		= 136.11㎡	
	建築面積 = 既存1階床面積 + α + 増築床面積		= 69.22㎡ + 1.98㎡ + 13.90㎡		= 85.10㎡	

■ 設計方針 ・「木造住宅等の増改築における建築確認申請の手引き」ケースII Bを適用
 ・既存部分の基礎は無筋コンクリート造のまま既存不適格とし、法86条の7に基づく緩和規定を適用する
 ・既存部分の構造上主要な部分である継手・仕口を使用している金物は既存不適格とし、法86条の7に基づく緩和規定を適用する
 ・増築後の建物全体の必要換気量を算出し、令20条の8に規定する換気設備(24時間換気)を設置する (既存部分は建築後5年以上経過のため、使用材料は規制対象外と判断)

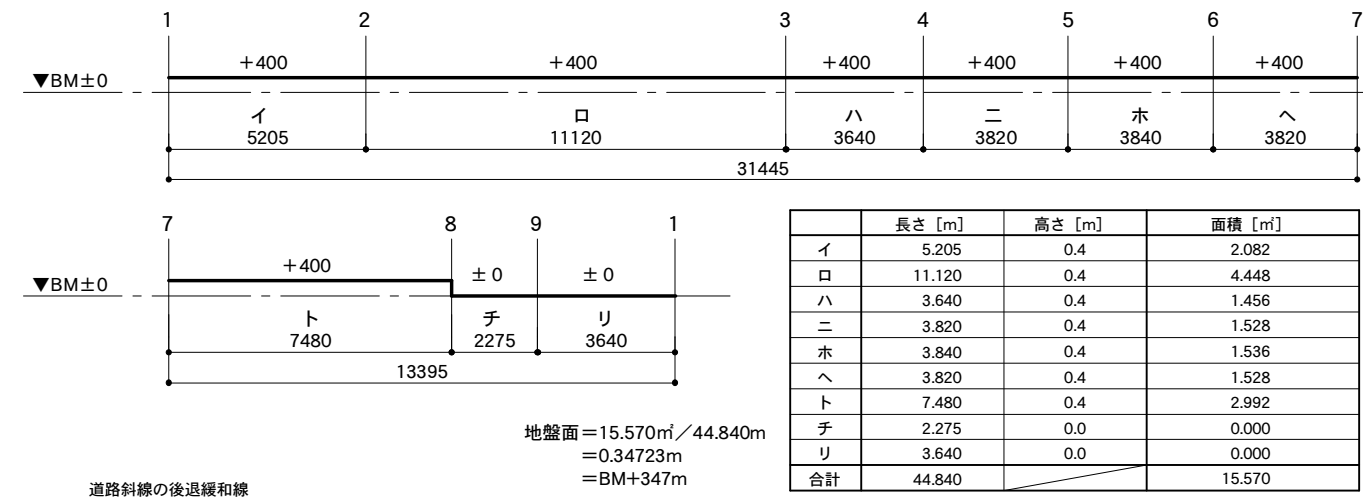
一級建築士事務所 ○○△△建築設計事務所
 一級建築士事務所〇〇知事登録〇〇
 一級建築士〇〇〇〇大臣登録第〇〇〇〇号
 改築

工事名称 増築部増築工事
 図面名称 付近見取図、計画概要
 敷地面積、増築面積、仕上げ表、設備概要

日付
 縮尺 図示
 図番 01

ケースII B (既存部分について新耐震基準に適合)

■ 地盤面算定表 S=1/200



凡例

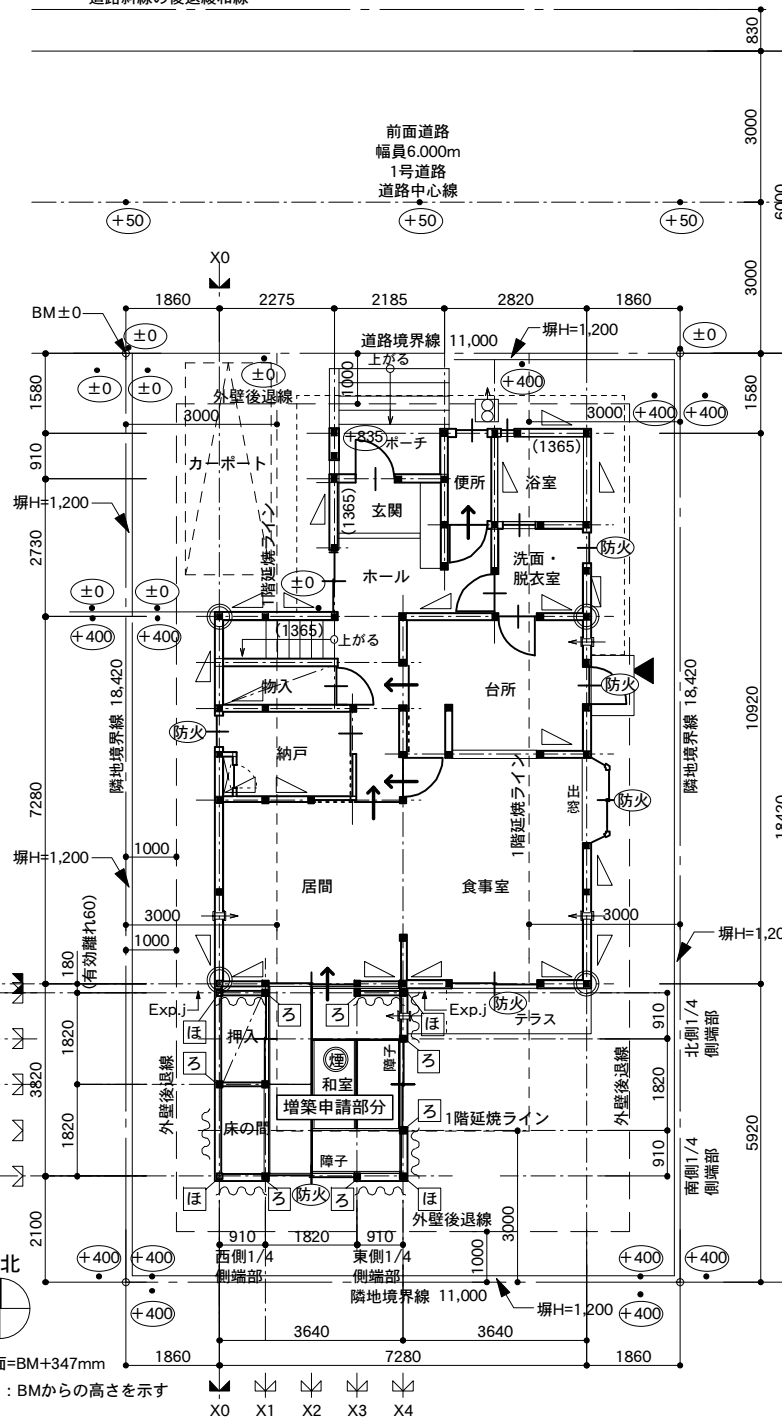
- 住宅用防火機器(煙感知器)
- 換気扇 (令20条の8による換気設備)
- 給気口100φFD付
- ドアの7割カット等 (通気措置)
- 防火 防火設備(サッシ+網入りフロート板ガラス16.8)
- 給湯器

■ 柱・筋かいの部材リスト

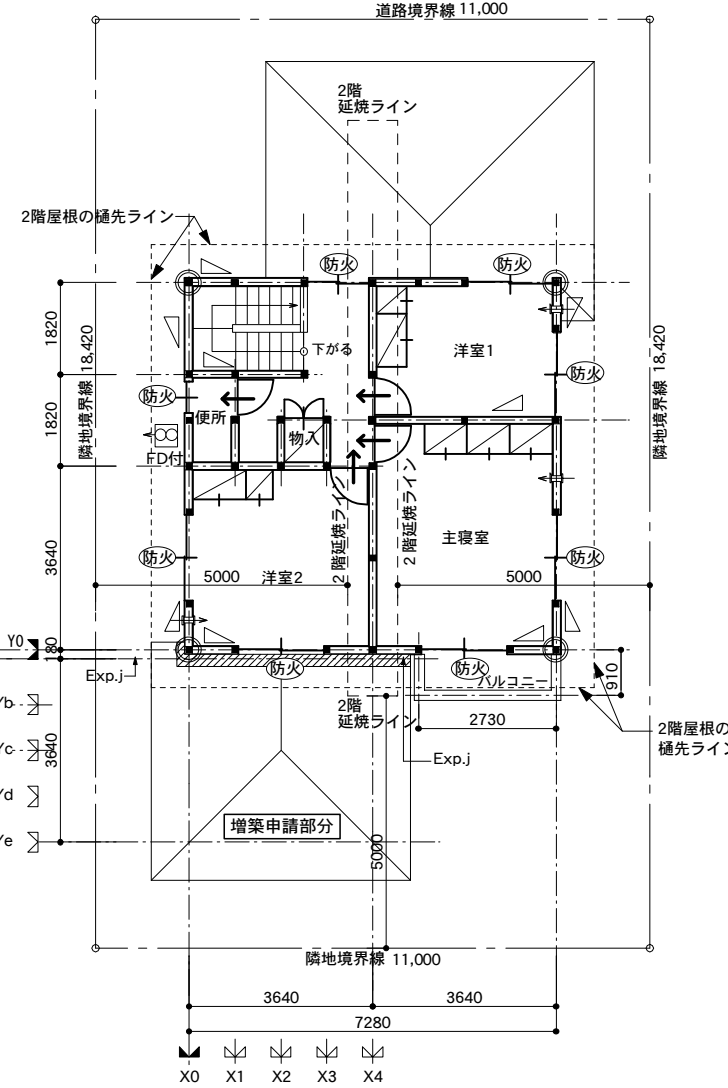
- 柱: 120×120
- 横架材間の垂直距離: 2800(最長)
- 柱の小径の判定: 2800×1/30=93.33<120-O.K
- 有効細長比の判定: 2800÷120=23.33<43.3-O.K
- 通し柱
- 筋かい: 片方向筋かい 45×90
- 面材耐力壁: 構造用合板 特厚7.5以上 (耐力壁以外の部分に使用する構造用合板のくぎ打ちの間隔は、30cm以上とする)

☐ スクリュー釘併用羽子板金物(平12建告1460号表3(註))

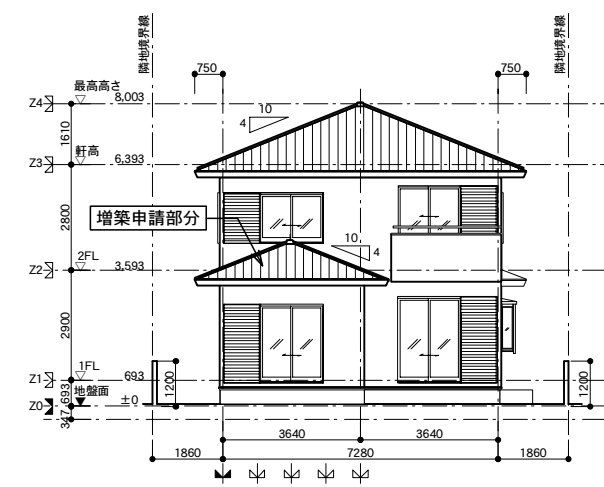
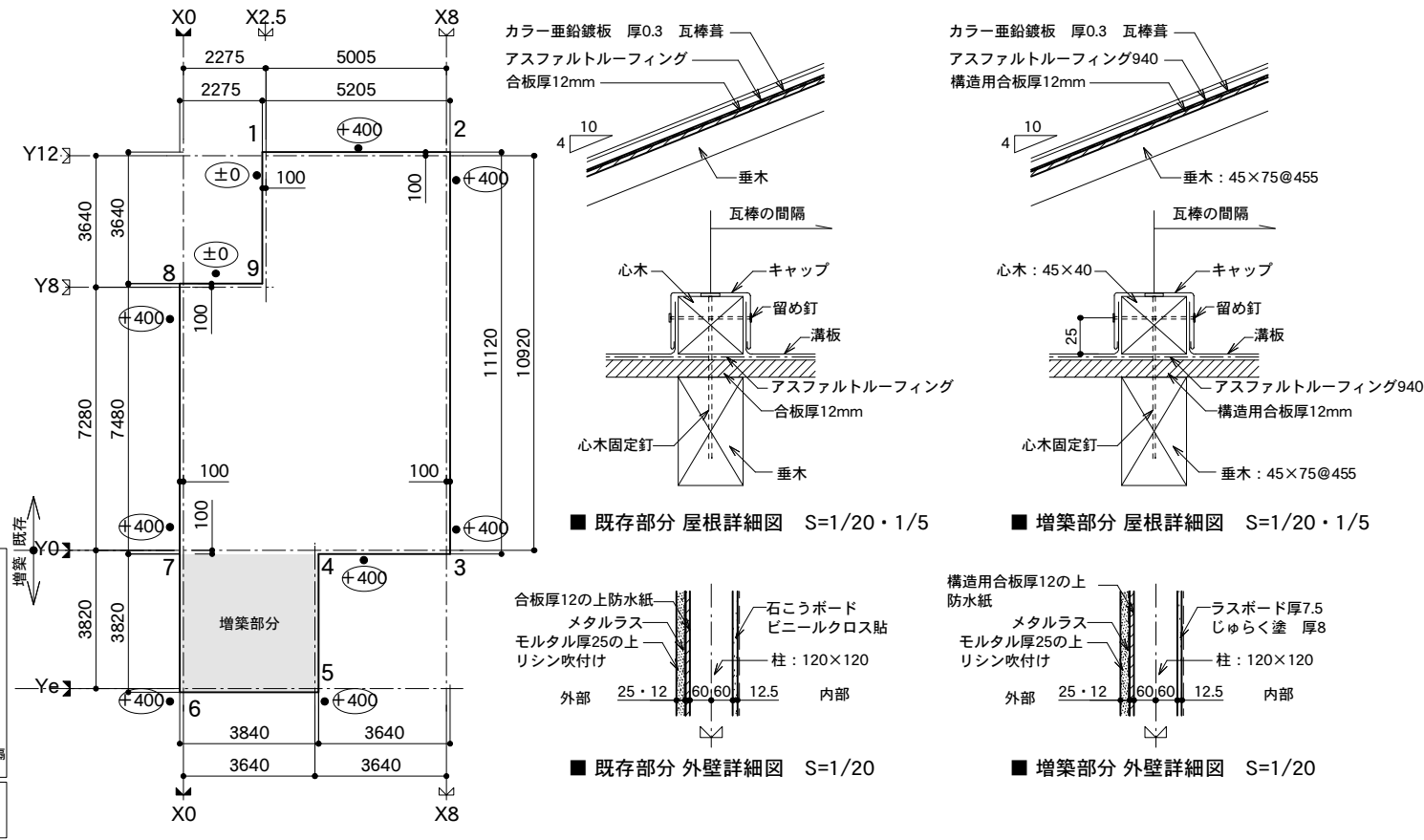
☒ L字型金物(平12建告1460号表3(ろ))



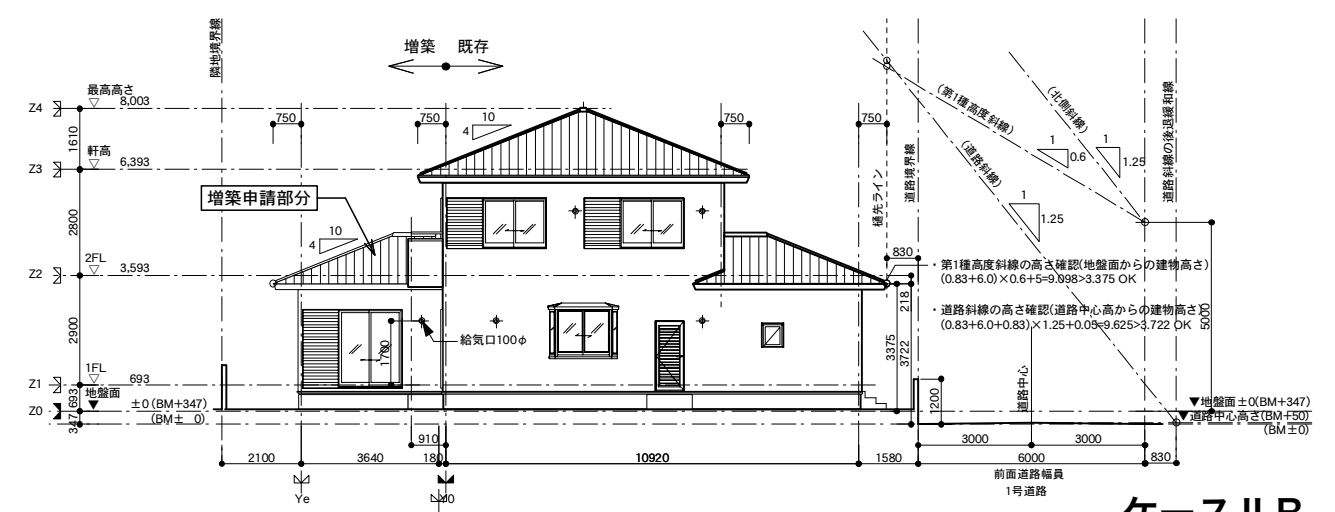
■ 配置兼1階平面図 S=1/150



■ 2階平面図 S=1/150



■ 南側立面図 S=1/200



■ 東側立面図 S=1/200

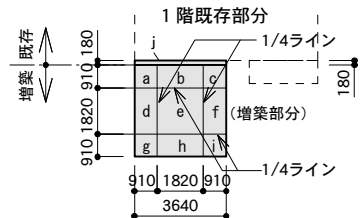
ケースII B
(既存部分について新耐震基準に適合)

■ チェックリスト

適用範囲	仕様規定	内 容	チェック
既存部分	令37条 : 構造部材の耐久	構造耐力上主要な部分の防腐若しくは摩損防止の措置	<input checked="" type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料 <input type="checkbox"/> 防腐等措置
増築部分	令38条1項 : 基礎の種類	基礎の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> べた基礎 <input type="checkbox"/> その他()
○	令38条5項 : 基礎の寸法	基礎の寸法	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□安全性有り □その他)
○	令38条6項 : 木くい	常水面に対する木くいの高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□常水面下 □その他)
○	令39条1項 : 屋根ふき材等の緊結	屋根ふき材等が脱落しないための措置	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
○	令41条 : 木材	構造耐力上主要な部分に使用する木材の耐力上の欠点	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し
○	令49条1項 : 外壁内部等の防腐措置等	軸組が腐りやすい構造である木材の下の防水紙等の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 防水紙使用 <input type="checkbox"/> その他()
○	令49条2項 : 同上	柱、筋かい及び土台の地面から1m以内の部分の防腐・防蟻措置等	<input type="checkbox"/> 防腐等措置 <input checked="" type="checkbox"/> 腐朽等しにくい材料
○	令38条2・3項 : 基礎の構造方法	異種構造の併用禁止・平12年建第1347号の構造方法による基礎	基礎詳細図に示す
○	令39条2項 : 屋根ふき材等の構造	昭46年建第109号の構造方法による屋根ふき材等の緊結	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
○	令42条 : 土台及び基礎	最下階の柱と土台又は基礎との緊結	基礎詳細図に示す
○	令43条 : 柱の小径	柱の小径、横架材間の垂直距離に対する割合、隅柱の措置、柱の細長比	柱の部材リスト・平面図に示す
○	令44条 : はり等の横架材	はり等の横架材の中央部附近の下側への耐力上支障のある欠点	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し
○	令45条1・2項 : 筋かいの材料	引張り力及び圧縮力を負担する筋かいの材料と寸法	筋かいの部材リストに示す
○	令45条3項 : 筋かい端部の緊結	筋かい端部の、柱と横架材との仕口に接近した部分での緊結	<input checked="" type="checkbox"/> 金物で緊結 <input type="checkbox"/> その他()
○	令45条4項 : 筋かいの補強	筋かいをたすき掛けるためにやむを得ず欠点みをする場合の補強措置	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し <input type="checkbox"/> 補強有り
○	令46条1・4項 : 構造耐力上主要な軸組	壁又は筋かいを入れた軸組の釣り合いよい配置、必要壁量の設置	壁量と壁配置のチェック・平面図に示す
○	令46条3項 : 火打材・振れ止め	床組及び小屋ばり組の隅角の火打材の使用、小屋組の振れ止めの措置	<input type="checkbox"/> 火打材使用 <input checked="" type="checkbox"/> 振れ止め有り <input type="checkbox"/> その他(合板)
○	令47条 : 継手又は仕口	平12年建第1460号の構造方法による継手又は仕口	継手仕口の金物リスト・平面図に示す

○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令38条1・2項 : 基礎の安全性	構造耐力上安全な構造、異種構造の併用禁止	基礎詳細図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令39条 : 屋根ふき材等の構造	昭46年建第109号の構造方法による屋根ふき材等の緊結	屋根詳細図・外壁詳細図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令39条の2 : 屋上から突出する水槽等	屋上から突出する水槽等の地震その他の震動及び衝撃に対する安全性	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当(□安全性有り □その他)
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令42条1項 : 土台及び基礎	最下階の柱と土台又は基礎との緊結	基礎詳細図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令42条2項 : 基礎の構造	一体の鉄筋コンクリート造又は無筋コンクリート造の布基礎	基礎詳細図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令43条 : 柱の小径	柱の小径、横架材間の垂直距離に対する割合、隅柱の措置、柱の細長比	柱の部材リスト・平面図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令44条 : はり等の横架材	はり等の横架材の中央部附近の下側への耐力上支障のある欠点	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令45条1・2項 : 筋かいの材料	引張り力及び圧縮力を負担する筋かいの材料と寸法	筋かいの部材リストに示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令45条3項 : 筋かい端部の緊結	筋かい端部の、柱と横架材との仕口に接近した部分での緊結	<input checked="" type="checkbox"/> 金物で緊結 <input type="checkbox"/> その他()
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令45条4項 : 筋かいの補強	筋かいをたすき掛けるためにやむを得ず欠点みをする場合の補強措置	<input checked="" type="checkbox"/> 欠点無し <input type="checkbox"/> 補強有り
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令46条1・3項 : 構造耐力上主要な軸組	壁又は筋かいを入れた軸組の釣り合いよい配置、必要壁量の設置	壁量のチェック・平面図に示す
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令46条2項 : 火打材・振れ止め	床組及び小屋ばり組の隅角の火打材の使用、小屋組の振れ止めの措置	<input checked="" type="checkbox"/> 火打材使用 <input checked="" type="checkbox"/> 振れ止め有り <input type="checkbox"/> その他(合板)
○	昭56年時の仕様規定(耐久性等関係規定以外)	令47条 : 継手又は仕口	継手又は仕口のボルト締、かすがい打、込み栓打等による緊結	継手仕口の金物リストに示す

■ 1階増築部分壁量計算用床積図 S=1/300

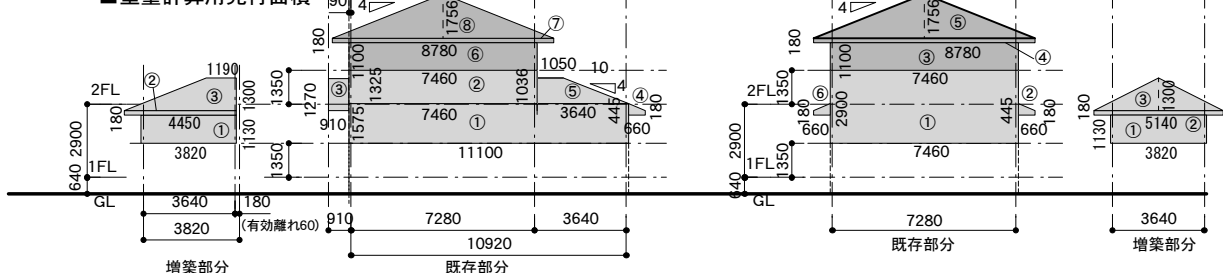


■ 壁量計算用面積表

	縦	横	面積
a	0.910	0.910	0.828
b	0.910	1.820	1.656
c	0.910	0.910	0.828
d	1.820	0.910	1.656
e	1.820	1.820	3.312
f	1.820	0.910	1.656
g	0.910	0.910	0.828
h	0.910	1.820	1.656
i	0.910	0.910	0.828
j	0.180	3.640	0.655

1階壁量計算用床面積	1階床面積 a+b+c+d+e+f+g+h+i+j	13.90㎡
1階北側1/4側端部	a+b+c	3.31㎡
1階南側1/4側端部	g+h+i	3.31㎡
1階西側1/4側端部	a+d+g	3.31㎡
1階東側1/4側端部	c+f+i	3.31㎡

■ 壁量計算用見付面積



■ X方向用見付面積

既存部分	増築部分	合計
1階		
①	1.575×11.1	17.48
②	1.325×7.46	9.88
③	1.27×0.91	1.15
④	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
⑤	(3.64+1.05) × 1.036/2	2.42
⑥	1.1×7.46	8.20
⑦	0.18×8.78	1.58
⑧	8.78×1.756/2	7.70
合計		48.61
2階		
⑥	1.1×7.46	8.20
⑦	0.18×8.78	1.58
⑧	8.78×1.756/2	7.70
合計		17.48
増築部分		
1階		
①	1.13×3.82	4.32
②	0.18×4.45	0.80
③	(4.45+1.19) × 1.3/2	3.44
合計		8.56

■ Y方向用見付面積

既存部分	増築部分	合計
1階		
①	2.9×7.46	21.63
②	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
③	1.1×7.46	8.20
④	0.18×8.78	1.58
⑤	8.78×1.756/2	7.70
⑥	(0.18+0.445) × 0.66/2	0.20
合計		39.51
2階		
③	1.1×7.46	8.20
④	0.18×8.78	1.58
⑤	8.78×1.756/2	7.70
合計		17.48
増築部分		
1階		
①	1.13×3.82	4.31
②	0.18×5.14	0.92
③	5.14×1.3/2	3.34
合計		8.57

■ 継手仕口金物リスト (昭56年時:令47条)

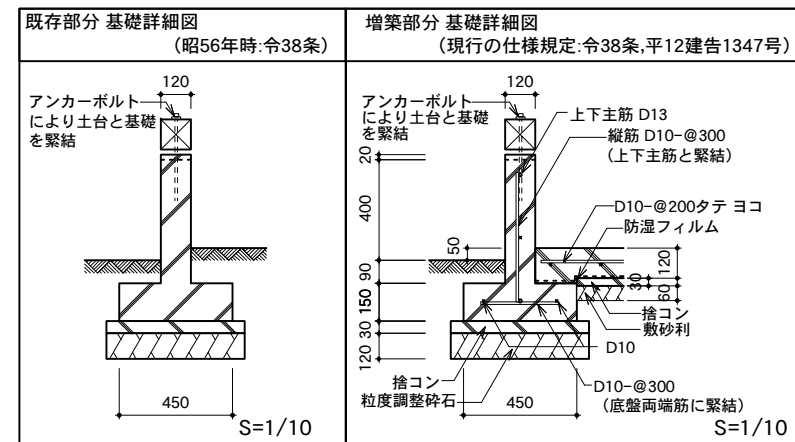
既存部分の柱	使用する金物
	<input checked="" type="checkbox"/> ボルト締め <input checked="" type="checkbox"/> かすがい打ち <input checked="" type="checkbox"/> 込み栓打ち <input checked="" type="checkbox"/> その他 (V字金物)

■ 継手仕口金物リスト (現行の仕様規定:令47条)

増築部分の柱	位置	金物の仕様	記号	備考
出隅の柱	スクリュー-釘併用羽子板金物		[ほ]	平12建第1460号第二号表3(ほ)の方法による接合
その他の柱	L字型金物		[ろ]	平12建第1460号第二号表3(ろ)の方法による接合

軸組の種類と柱の配置に応じ、平12建第1460号の表より選定

■ 基礎土台詳細図 S=1/10



地耐力: 目視等により調査した結果、既存部分の地盤の沈下、基礎の亀裂等が生じていないことから、地耐力30kN/m²以上と判断する

耐力壁の仕様と壁倍率

耐力壁	筋かいの種類	仕様	記号	倍率	備考
耐力壁	筋かい	片方向筋かい 45×90	[△]	2.0	令46条4項表1(4)の軸組
	面材耐力壁	構造用合板特厚 7.5以上	[〰]	2.5	昭56建第1100号別表第1(1)の軸組

【既存部分】

■ 壁量のチェック (昭56年時:令46条)

①方向・階	②ゾーン	耐力壁の存在壁量の計算				建築基準法の地震に関する必要壁量の計算				建築基準法の風に関する必要壁量の計算				建築基準法の壁量のチェック	
		③耐力壁の種類	④壁倍率	⑤壁の実長(cm)	⑥=④×⑤存在壁量(cm)	⑦床面積(m ²)	⑧床面積に乘ずる数値	⑨=⑦×⑧建築基準法の地震に関する必要壁量(cm)	⑩=⑥/⑨存在壁量の必要壁量に対する比	⑪見付面積(m ²)	⑫見付面積に乘ずる数値	⑬=⑪×⑫建築基準法の風に関する必要壁量(cm)	⑭必要壁量	⑮=⑭/⑬存在壁量	⑯判定(⑮≥⑯なら適)
X軸方向2階	片方向筋かい	2.00	546.00	1092.00	52.99	15	794.85	1.37	17.48	50	874.00	874.00	1092.00	適	
		計		1092.00											
X軸方向1階	片方向筋かい	2.00	1365.00	2730.00	69.22	29	2007.38	1.17	48.61	50	2430.50	2430.50	2730.00	適	
		計		2730.00											
Y軸方向2階	片方向筋かい	2.00	455.00	910.00	52.99	15	794.85	1.14	17.48	50	874.00	874.00	910.00	適	
		計		910.00											
Y軸方向1階	片方向筋かい	2.00	1137.50	2275.00	69.22	29	2007.38	1.13	39.51	50	1975.50	2007.38	2275.00	適	
		計		2275.00											

【増築部分】

■ 壁量と壁配置のチェック (現行の仕様規定:令46条)

①方向・階	②ゾーン	耐力壁の存在壁量の計算				建築基準法の地震に関する必要壁量の計算とバランスよい壁配置のチェック				建築基準法の風に関する必要壁量の計算				建築基準法の壁量のチェック					
		③耐力壁の種類	④壁倍率	⑤壁の実長(cm)	⑥=④×⑤存在壁量(cm)	⑦床面積(m ²)	⑧床面積に乘ずる数値	⑨=⑦×⑧建築基準法の地震に関する必要壁量(cm)	⑩=⑥/⑨存在壁量の必要壁量に対する比	⑪壁量充足率によるバランスよい壁配置の判定	⑫壁率比	⑬壁率比によるバランスよい壁配置の判定	⑭見付面積(m ²)	⑮見付面積に乘ずる数値	⑯=⑭×⑮建築基準法の風に関する必要壁量(cm)	⑰必要壁量	⑱=⑰/⑱存在壁量	⑲判定(⑲≥⑲なら適)	
X軸方向1階	北側1/4	構造用合板	2.50	182.00	455.00	3.31	11	36.41	12.49	適	(1.00)	(適)	8.56	50	428.00	428.00	910.00	適	
		計		455.00															
	中央	構造用合板	2.50	0.00	0.00	6.63													
		計		0.00															
Y軸方向1階	南側1/4	構造用合板	2.50	182.00	455.00	3.31	11	36.41	12.49	適	(1.00)	(適)	8.57	50	428.50	428.50	910.00	適	
		計		455.00															
	中央	構造用合板	2.50	0.00	0.00	6.63													
		計		0.00															
増築部分	西側1/4	構造用合板	2.50	182.00	455.00	3.31	11	36.41	12.49	適	(1.00)	(適)	8.57	50	428.50	428.50	910.00	適	
		計		455.00															
	東側1/4	構造用合板	2.50	182.00	455.00	3.31	11	36.41	12.49	適	(1.00)	(適)	8.57	50	428.50	428.50	910.00	適	
		計		455.00															
合計				910.00	13.90	29	403.10	2.25											

ケースII B (既存部分について新耐震基準に適合)